

## 第79回日本体力医学会大会のご案内（第1報）

第79回日本体力医学会大会を下記の通り滋賀県草津市において開催いたします。

全国から多くの会員の皆さまのご参加を心からお待ちしております。

なお、学会の最新情報は第79回大会ウェブサイト（<https://tairyoku79.com/>）をご覧ください。

学会大会の最新情報は順次アップしていきます。

### 記

1. 会 期：令和7年9月17日(水)、18日(木)、19日(金)
2. 会 場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス  
(〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1)
3. 大 会 長：田畑 泉（立命館大学スポーツ健康科学部・特命教授）
4. 大会事務局：第79回日本体力医学会大会 主催事務局  
〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1  
立命館大学スポーツ健康科学部 実行委員長（事務局長）  
家光 素行（立命館大学スポーツ健康科学部・教授）
5. 運営事務局：株式会社クレオテック  
第79回大会運営デスク（株式会社阪急交通社）  
〒530-8355 大阪府大阪市北区梅田2-5-25 ハービス OSAKA 9F  
TEL：06-4795-5927  
(平日10：00～17：00 ※時間外：土日祝日、12/28～1/5、8/9～17)  
FAX：06-4795-5932  
E-mail：tairyoku79@hei.hankyu.co.jp
6. 大会プログラム（予定）
  - (1) 大会長講演
  - (2) 学会理事長講演
  - (3) 特別講演
  - (4) 基調講演
  - (5) 教育講演
  - (6) シンポジウム
  - (7) 一般研究発表（オーラル・ポスター）
  - (8) 学会賞受賞講演
  - (9) 共催セミナー（ランチョンセミナー・スポンサードシンポジウム）
  - (10) 市民公開講座
  - (11) その他

注1) 学会大会の一般研究発表への応募は学会員に限ります。

共同研究者は学会員ではなくても構いません。

会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。

# 第78回日本体力医学会大会（佐賀）を終えて



第78回日本体力医学会大会大会長  
佐賀大学名誉教授，鎮西学院大学教授

松山 郁夫

5類になりましたが盆過ぎのコロナ感染の増加，大会直前の台風10号の迷走と交通機関の混乱，観測史上最大の猛暑と，三重苦か四重苦の状況のなかで，果たして5年ぶりの対面による学会ができるのかと不安を感じながらも，日本体力医学会理事長永富先生をはじめ理事，評議員，会員，参加してくださる方々，本会に協力していただきました企業等の皆様のご助力により，第78回日本体力医学会大会を佐賀大学本庄キャンパスにおいて，令和6年9月2日から4日まで無事開催できました。関係された皆様に心より感謝申し上げます。

本学会の会場の確保等，大会を開催するうえで必要なことにつきましては，佐賀大学児玉学長をはじめ，教職員の皆様が温かく応援してくださいました。大会の運営には株式会社ハートス様の力添えをいただいています。また，様々な大学の教員が運営委員をして大会が成功するように努力してくださいました。高校の同級生と一緒に佐賀大学名誉教授になった安西先生（糖尿病専門医）は快く副会長を引き受けてくださり，山津実行委員長と中村事務局長には東奔西走して前向きに大会の準備をしていただきました。本大会の運営に協力してくださった皆様に，深く感謝申し上げます。

今回の学会における体力科学の研究領域については，生理学，生化学，分子生物学，免疫学，運動生理学，栄養学，体育学，スポーツ科学等の体力研究の基礎科学，健康や健康を阻害する病態，運動から生起する基礎科学や応用科学の分野と関係する生命科学，臨床スポーツ医学，及び社会医学としての体力研究，また，臨床スポーツ医学に関わる整形外科，内科学，老年医学，社会医学に関わる公衆衛生学，予防医学，環境保健学等かなりの幅広い講演や研究発表がなされていました。さらに，運動や栄養と関連した生理機能のメカニズムの解明，それらの処方と国民への普及，予防医学からの具体策の案出までの，身体を介した人間活動のすべての領域の研究を促進する内容が含まれていることに驚きました。私自身も皆様の研究から多様な知見を学ぶことができ，本学会の強みは，体力科学に関する多様な領域の研究者が一同に会して討論ができ，取り扱う体力科学の領域の幅が広いことにあると実感しました。今後，参加された先生方の研究がさらに進み，社会により貢献できる研究が多数なされることを楽しみにしています。講演や研究発表をされた先生方，ありがとうございました。

私は大会長講演で，「発達障害児における運動を中心とする自由遊びについて」と題する話をさせていただきました。佐賀大学本庄キャンパスの体育館で，知的障害や発達障害がある幼児や小学生とその兄弟姉妹児が，運動を中心とする自由遊びの場（通称ウルトラマンクラブ）で，興味や関心のある遊びを思い切り身体を動かして楽しむ取り組みでした。コロナ感染が拡大するまで，約14年間の活動でしたが，対象児が安心して遊び，自信を持てる体験ができていました。学生トレーナーは対象児の遊びや行動の変化をよく観察し，受容的態度で接したために，対象児の成長や発達がなされたことを実感していました。また，運動を中心とする自由遊びの場には，「居場所としての性格を有し，心理的支援の形態に個別心理療法と集団心理療法の両

方の要素があるため、対象児に応じた支援の調整がなされ、治療教育と日常生活への支援が同時になされる」、「ストレンクス視点による支援がなされやすい環境にあり、表象能力に応じた遊びが一定時間継続するため、表象能力を高めて発達を促すように作用する」、「対象児が他者との信頼関係を構築するため、自発性、意思表示、対人交流、遊びへの集中、遊びの質が向上し、体力・社会性を高めるように作用する」、以上がこの活動から得られたことです。しかし、今回の大会での講演や研究発表を聞くと、体力科学の視点から考えれば、この取り組みをもっと充実させる手立てがあったように思いました。

最終日の早朝、本庄キャンパスの「ラクウショウ通り」(落羽松)をコースに含んだ持久走大会が開催されました。朝7時スタートの5kmタイムレースと5km申告タイムレースで、多数の参加者が走りました。猛暑にもかかわらず和やかな雰囲気の中で、参加された先生方、皆様一所懸命走られていました。また、スタッフも準備や後片付け等がんばっていました。皆様お疲れ様でした。夕方は、無料で一般の方も聴講できる体力科学の専門家による講演がなされました。NHKの筋肉体操で知られている谷本先生の筋肉体操についての講演では、80代の高齢者が多数参加されました。その場での浅はかではない深くしゃがむスクワット15回、机を使った腕立て伏せ10回を、参加者全員で取り組みました。80代の女性の方々が笑顔で運動をする姿を見て、健康の大切さ、参加者全員で和やかな雰囲気のなかで運動を楽しむ大切さを感じました。

現在、私は知的障害者における認知症の併発率が高いように感じています。知的障害の併発症としての認知症を含めて考察された2015年から2024年に発刊された論文の内容について検討し、次のことが重要だと考えています。①知的障害の併発症としての認知症を含めた多様な精神疾患に対する治療や療育による支援の充実を図る政策の構築。②知的障害に併発症として認知症がある場合、相互に関連する「認知症の影響」、「診断過程の検討」、「支援の連続性」、「継続性」、「理解の連続性」の視点から状態像を捉えた上での支援。③知的障害者や認知症患者における疼痛の存在や潜在的原因を明らかにした上での支援。④知的障害のある高齢者におけるいくつかの種類の精神医学的診断に関する性差。⑤知的障害で認知症を併発している場合の、人権と人的資源、個別サービスと臨床支援、アドボカシー、公共的影響、家族介護者の問題。⑥知的障害者における加齢とともに認知症の併発が多くなることに対する医療福祉による支援。⑦ダウン症には認知症の正確な診断、可逆的な追加因子の治療、心理学的・行動学的管理の考慮、抗認知症薬の使用、臨床実践が必要。⑧知的障害および認知症は分けて理解し、認知症のリスクは知的障害の原因によって異なることを念頭においた質の高いヘルスケアの実施。⑨てんかんと知的障害に加えて認知症が加わった場合のケアの質の向上。⑩重度重複知的障害者で認知症を併発している場合、ダウン症や知的障害の能力評価尺度から、行動・心理機能、認知機能、運動機能、日常生活動作、医学的合併症の5領域から状態像を理解した上での支援。以上のことから、例えば、知的障害特別支援学校の児童生徒に対して、卒業後も生涯にわたる日々の運動習慣を身につけることを目標にして、フィットネスとして運動を楽しめる教育がなされれば、認知症の予防や認知症になってもその進行を緩やかにすることに繋がります。教育や福祉において体力科学を活用する価値は高いと考えています。今後の日本体力医学会の活動に対して大きな期待をしています。

第79回日本体力医学会大会は「つなぐーシン・日本体力医学会大会」がテーマで、大会長は、立命館大学スポーツ健康科学部 特命教授の田畑 泉先生です。滋賀県の立命館大学びわこ・くさつキャンパスで、令和7年9月17日から19日の3日間開催されます。私の勝手な解釈で間違っていたら申し訳ないのですが、「新たな真実を追究する学会を真剣に目指す」ことを意図しているように思いました。対面で第78回大会よりも白熱した議論がなされる充実した学会になることを祈っております。

# 一般社団法人 日本体力医学会 定款

## 第1章 総 則

### (名 称)

第1条 この法人は、一般社団法人日本体力医学会と称する。英語名は、The Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicineと表示する。

### (事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都文京区に置く。

2 この法人は、理事会の決議により、従たる事務所を必要な地に設置することができる。

### (地方会)

第3条 この法人は、社員総会の議決を経て、地方会を置くことができる。

2 地方会の組織及び運営に関し必要な規定は、理事会において定める。

## 第2章 目的及び事業

### (目 的)

第4条 この法人は、日本国内外における体力ならびにスポーツ医科学に関する研究の進歩、発展を促進し、研究の連絡協力を図るとともに、その成果の活用をはかり、もって我が国の学術の発展に寄与することを目的とする。

### (事 業)

第5条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 体力医学に関する学術講演会などの開催
- (2) 機関誌その他の刊行物の発行
- (3) この法人が関係する内外の関連団体との連絡及び協力
- (4) 研修会の実施と称号の授与
- (5) 体力医学の振興ならびに、普及、啓発
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### (学術講演会)

第6条 学術講演会は、毎年1回以上開いて会員の業績を発表する。

2 国民体育大会行事の一環として行われる学術講演会は、この法人の学会大会として、原則として国民体育大会の開催地で行われる。

## 第3章 会 員

### (法人の構成員)

第7条 この法人の会員は、次の4種とする。

- (1) 正 会 員 体力医学に関する学識経験を有し、この法人の目的に賛同して入会した個人
- (2) 名 誉 会 員 この法人の発展に関して学術上の功績が特に著名な者で、理事会が推薦し社員総会で承認された個人
- (3) シニア会員 名誉会員に準ずる会員で、別に定める要件を満たした会員からの申請により理事会で承認された個人
- (4) 賛 助 会 員 この法人の事業を賛助するために入会した団体

2 この法人は、正会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般社団・財団法人法」という。）上の社員とする。

### (入 会)

第8条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申込みをし、その承認を受けなければならない。

### (経費の負担)

第9条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、毎年、会員は、社員総会において別に定める額の会費を支払う義務を負う。ただし、名誉会員はこの限りでない。

2 既納の会費は、いかなる場合でも返還しない。

### (任意退会)

第10条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

### (除 名)

第11条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、社員総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき.
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき.
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき.

#### (会員資格の喪失)

第12条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第9条の支払義務を2年以上履行しなかったとき.
- (2) 総正会員が同意したとき.
- (3) 当該会員が死亡し、又は解散したとき.

## 第4章 社員総会

### (構成)

第13条 社員総会は、すべての正会員をもって構成する。

### (権限)

第14条 社員総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬等の額
- (4) 事業報告及び貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）等の承認
- (5) 会費の額
- (6) 理事会で付議したもの
- (7) 定款の変更
- (8) 解散及び残余財産の処分
- (9) その他社員総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

### (開催)

第15条 社員総会は、定時社員総会として毎事業年度終了後3箇月以内を開催するほか、必要がある場合に臨時社員総会を開催する。

### (招集)

第16条 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 総正会員の議決権の5分の1以上の議決権を有する正会員は、理事長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して、社員総会の招集を請求することができる。

### (議長)

第17条 社員総会の議長は、理事長がこれにあたる。

### (議決権)

第18条 社員総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

### (決議)

第19条 社員総会の決議は、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上にあたる多数をもって行う。
  - (1) 会員の除名
  - (2) 監事の解任
  - (3) 定款の変更
  - (4) 解散
  - (5) その他法令で定められた事項
- 3 社員総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面もしくは電磁的方法をもって議決権を行使し、又は他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる。
- 4 前項の場合における第1項、第2項の規定の適用については、その正会員は出席したものとみなす。

### (議事録)

第20条 社員総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

## 第5章 役員等

### (役員の設定)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 20名以上25名以内
- (2) 監事 4名以内

- 2 理事のうち1名を理事長、2名を副理事長、1名を常務理事とする。
- 3 理事長を一般社団・財団法人法上の代表理事とし、副理事長及び常務理事を業務執行理事とする。

#### (役員を選任)

第22条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

- 2 理事長、副理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 監事は、この法人又はその子法人の理事又は使用人を兼ねることができない。
- 4 役員を選出についての細則は別に定める。

#### (理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 副理事長及び常務理事は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人の業務を分担執行し、理事長に事故があるときは、あらかじめ理事会で定めた順序により、その職務を代行する。
- 4 理事長、副理事長及び常務理事は、3箇月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

#### (監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

#### (役員任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任は妨げない。

- 2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。なお、再任は妨げない。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

#### (役員解任)

第26条 理事及び監事は、社員総会の決議によって解任することができる。

#### (役員報酬等)

第27条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、社員総会において定める総額の範囲内で、社員総会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

## 第6章 理事会

### (構成)

第28条 この法人に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

### (権限)

第29条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長、副理事長及び常務理事の選定及び解職
- (4) 社員総会に付議すべき事項の決定
- (5) 細則及び規則類の制定、同改廃の決定

### (招集)

第30条 理事会は、理事長が招集する。

### (議長)

第31条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

### (決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定に関わらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることができる理事の全員が書面・メール又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。但し、監事が異議を述べ

たときは、その限りではない。

(議事録)

- 第33条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。  
2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第7章 評議員及び評議員会

(評議員)

- 第34条 この法人に、評議員を置く。  
2 評議員は、理事会で選任する。  
3 評議員は、評議員会を構成し、理事会の諮問に応じ、意見を述べることができる。  
4 評議員の互選により、評議員会長を置く。

(評議員会)

- 第35条 評議員会は、毎事業年度に一回開催するほか、必要がある場合に開催する。  
2 評議員会は、評議員会長が招集する。  
3 評議員会の議長は、評議員会長とする。  
4 評議員会は、理事会の諮問に応じ、第14条に定める社員総会の決議事項のほか、この法人の運営全般について意見を述べるができる。  
5 評議員会の決議は、評議員現在数の過半数が出席し、出席した当該評議員の過半数をもって行う。

## 第8章 資産及び会計

(事業年度)

- 第36条 この法人の事業年度は、毎年8月1日に始まり翌年7月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

- 第37条 この法人の事業計画書、収支予算書については、毎事業年度の開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。  
2 前項の書類については、主たる事務所（及び従たる事務所）に、当該事業年度が終了するまでの間備え置くものとする。  
3 第1項で承認された事業計画・収支予算は直近の社員総会に報告しなければならない。

(事業報告及び決算)

- 第38条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て、定時社員総会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第5号までの書類については承認を受けなければならない。  
(1) 事業報告  
(2) 事業報告の附属明細書  
(3) 貸借対照表  
(4) 損益計算書（正味財産増減計算書）  
(5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書  
2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間（また、従たる事務所に3年間）備え置くものとする。  
(1) 監査報告  
(2) 理事及び監事の名簿

(剰余金の分配)

- 第39条 この法人は、剰余金の分配は行わない。

## 第9章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

- 第40条 この定款は、社員総会の決議によって変更することができる。

(解 散)

- 第41条 この法人は、社員総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(残余財産の帰属)

- 第42条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第10章 公告の方法

(公告の方法)

第43条 この法人の公告は、この法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

## 第11章 事務局

### (事務局の設置等)

第44条 この法人の事務を処理するために、事務局を設置する。

- 2 事務局には、所要の職員を置く。
- 3 職員は、理事長が理事会の承認を得て任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により理事長が別に定める。

## 第12章 補 則

### (委 任)

第45条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に関する事項は、理事会の決議により別に定める。ただし、この定款の施行についての細則は、理事会及び社員総会の決議を経て、別に定める。

## 附 則

- 1 この法人は、その主たる事務所の所在地において設立の登記をすることにより成立する。
- 2 任意団体の日本体力医学会の正会員、名誉会員、賛助会員であって、第7条に規定する正会員、賛助会員の資格を有する者及び団体は、第8条の規定にかかわらずこの法人成立の日にこの法人に入会したものとみなす。
- 3 任意団体の日本体力医学会の評議員は、この法人成立の日にこの法人の評議員に選任されたものとみなす。
- 4 この法人の最初の理事の任期は、平成27年開催予定の定時社員総会終結の時までとする。
- 5 第7条第2項の規定にかかわらず、この法人の設立時社員は、次のとおりとする。

設 立 時 社 員 (住所記載省略)

下 光 輝 一

設 立 時 社 員 (住所記載省略)

小 野 寺 昇

- 6 この法人の設立時役員は、次のとおりとする。

設 立 時 理 事 荒 尾 孝

設 立 時 理 事 碓 井 外 幸

設 立 時 理 事 大 野 誠

設 立 時 理 事 小 野 寺 昇

設 立 時 理 事 勝 村 俊 仁

設 立 時 理 事 川 久 保 清

設 立 時 理 事 川 原 貴

設 立 時 理 事 栗 原 敏

設 立 時 理 事 坂 本 静 男

設 立 時 理 事 定 本 朋 子

設 立 時 理 事 下 光 輝 一

設 立 時 理 事 下 村 吉 治

設 立 時 理 事 鈴 木 政 登

設 立 時 理 事 武 政 徹

設 立 時 理 事 竹 森 重

設 立 時 理 事 田 中 喜 代 次

設 立 時 理 事 田 中 宏 暁

設 立 時 理 事 田 畑 泉

設 立 時 理 事 鳥 居 俊

設 立 時 理 事 永 富 良 一

設 立 時 理 事 西 平 賀 昭

設 立 時 理 事 浜 岡 隆 文

設 立 時 理 事 福 永 哲 夫

設 立 時 理 事 山 内 秀 樹

設 立 時 理 事 吉 岡 利 忠

設 立 時 代 表 理 事 下 光 輝 一

設 立 時 監 事 小 林 康 孝

設 立 時 監 事 能 勢 博

# 一般社団法人 日本体力医学会 定款施行細則

## 第1章 通 則

第1条 一般社団法人日本体力医学会定款第45条に基づき、会員、役員及び評議員の選出、委員会、学術集会等に関する諸規程を設ける。

## 第2章 会 員

第2条 この法人の会費は、次のとおりとする。

- (1) 正 会 員 年額 10,000円
- (2) シニア会員 年額 5,000円
- (3) 賛 助 会 員 年額 1口以上（1口50,000円）

2 会費は年度末までにそれぞれ納入しなければならない。

3 正会員、シニア会員ならびに名誉会員は、学術講演会及び機関誌に業績を発表することができ、また、機関誌等の頒布を受けるものとする。

4 賛助会員は、機関誌の頒布を受けるものとする。

第3条 シニア会員の認定は、本人の申請により理事会で行う。

2 シニア会員の認定を受ける正会員は、次のいずれも満たす者とする。

- (1) シニア会員を申し込むときの年齢が満70歳以上であること。
- (2) 日本体力医学会の正会員歴20年以上であること。

3. シニア会員の認定を受けた者は、評議員の資格を喪失する。

## 第3章 評議員の選出等

第4条 評議員の選出は、推薦された評議員候補のうちから選考委員会の議を経て、評議員会で選任する。

2 評議員の選出に必要な事項は、別に「評議員選考内規」に定める。

## 第4章 理事候補、評議員会長候補及び監事候補の選出等

第5条 理事候補者、評議員会長候補者及び監事候補者は、別に定める「選挙管理規程」に従い、4年毎に評議員の選挙によって選出する。

2 理事については、定款の規定により任期満了となる選任2年後の社員総会において、理事再任の承認を得ることにより、在任期間を4年とする。

## 第5章 委 員 会

第6条 この法人にその事業遂行のために、次の常設委員会を置く。

- (1) 総務委員会
- (2) 編集委員会
- (3) 学術委員会
- (4) 財務委員会
- (5) 評議員選考委員会
- (6) 渉外委員会
- (7) 倫理委員会
- (8) 利益相反委員会

- 2 各常設委員会の任務，任期，定員等は，別に定める。

第7条 この法人に，常設委員会の他，総会又は理事会の決議により必要があると認めたときは特定の事項を行わせるため特別委員会を置くことができる。

## 第6章 学術講演会，大会長等

第8条 学術大会に大会長を置く。

第9条 大会長は，理事会が推薦し，社員総会で選任する。

- 2 大会長は，当該年度の学術集会を組織し運営にあたる。
- 3 学術集会の運営等に関する規程は，別に定める。

第10条 大会長は，理事長の判断により必要な理事会に出席する。但し，議決権を持たない。

第11条 この法人は，理事会の議を経て，学術講演会，研修会，市民公開講座等を開催できることとする。

## 第7章 顧 問

第12条 この法人に，1名以上5名以内の顧問を置くことができる。

- 2 顧問は，この法人における理事長の経歴を有する者で，次の職務を行う。
  - (1) 理事長の相談に応ずること。
  - (2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。
- 3 顧問の選任及び解職は，理事会において決議する。
- 4 顧問は，無報酬とする。

## 第8章 表 彰

第13条 この法人は，日本体力医学会学会賞等を設ける。各賞に関する事項は，学会賞選考委員会規程に定める。

## 第9章 補 則

第14条 この細則の変更は，社員総会の決議を経なければならない。

## 附 則

1. この細則は，この法人成立の日から施行する。



## 体力科学投稿規定

改訂：2022（令和4）年9月13日

### I. 投稿資格

本誌への投稿は本学会の会員・非会員を問わない。また、編集委員会が必要と認めた場合、会員・非会員を問わず投稿を依頼することができる。

### II. 掲載採否・順序

原稿の採否は、原則として2名の査読審査により編集委員会にて決定する。査読者からの意見やコメント等は2ヶ月以内に修正した論文を提出する。期限内に提出されなかった論文は不採択とする。掲載は原則として採択順とする。

### III. 原稿の種類

総説、原著、ノート、資料、事例報告（症例報告を含む）、教育講座、抄録、その他（Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など）とし、原則として和文のみとする。

- A. オンライン投稿：投稿総説、原著、ノート、資料、事例報告（症例報告を含む）とする。
- B. 依頼総説、教育講座、地方会抄録、その他（Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など）は、J-STAGE オンライン投稿審査システムを使用せず、以下のE-mailアドレスへ添付ファイルで投稿する。

hj-tairyoku@turui.co.jp

### IV. 原稿一般規定

ヒトおよび実験動物を対象とした研究の原著、ノート、資料および事例報告（症例報告を含む）では、当該研究施設等の倫理審査委員会あるいは動物実験委員会等の承認を受けた研究であることを「方法」に明記し、承認番号を記載するものとする。掲載された論文の著作権は日本体力医学会に帰属する。

- A. 使用ソフトウェア：下記の汎用ファイルで作成する。
  - 本文ファイル：Microsoft Office Word
  - 図表ファイル：Microsoft Office Word, Excel, PowerPoint, PDF, JPEG
- B. 用紙設定：和文、英文抄録ともに、用紙設定をA4判とし、上下左右3cmの余白を設け、左側に行番号を入れ、一段組みで10.5ポイント以上の文字でダブルスペースにて入力する。
- C. 用語：日本医学会医学用語管理委員会編「日本医学会用語辞典」英和改訂第3版（2007年出版）、和英（1994年出版）を参照する。
- D. 文体：原稿は、平かな、新かなづかい。当用漢字、外国語、外国固有名詞、化学物質名などは原語、外来語、動植物名などは片かな、数字はアラビア数字を使用する。
- E. 単位及び単位記号：原則として国際単位系（SI）に従うが、当該領域で慣用されているものはこの限りではない。
- F. 図表：説明は英文で適切な題目をつけ、それに続いて図表の内容が理解できる説明を別紙に記載する。
- G. 掲載料及び別刷料：1頁あたり5,000円の掲載料を著者が負担する。（2,400字が刷り上がり1頁に相当する）カラー頁は、1頁あたり20,000円の掲載料を著者が負担する。別刷料は著者負担とする。なお、論文掲載後に正誤表を新たに追加する際、その料金は著者負担とし、1頁につき10,000円の掲載料を負担する。地方会抄録の掲載料は原則無料とする。ただし、地方会大会事務局が認めた非会員の抄録掲載料は、1演題あたり3,000円とする。その他、学会大会および地方会大会で大会事務局が招聘した発表抄録の掲載料は原則無料とする。

H. 校正：編集委員会の決定した期日内で、校正はすべて著者の責任により行う。

I. 投稿についての問い合わせ

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1

鶴岡印刷株式会社内 「体力科学」編集事務局宛

〔電話FAX 共通 0235-22-3120〕E-mail : hj-tairyoku@turuin.co.jp

V. 投稿規定

A. 原著および総説

1. 論文は独創性に富み、未投稿の研究論文とする。1頁目には、表題、著者名、共著者名、所属機関名、所在地の各（和・英）と、別刷希望部数を明記する。また、責任著者名の右にアスタリスク（\*）を付し、責任著者のE-mailアドレスを記入する。2頁目には英文抄録とkeywords、3頁目以降に緒言、方法、結果、考察、引用文献、図の説明の順に記載する（図表の挿入位置は本文に赤で示す）。表および図は本文原稿とは別に作成する。また、表および図の中の文字および説明は、英語表記とする。
2. 原稿には英文抄録（Abstract：研究目的、方法、結果、結論などを含めて250words以内で記載）およびその和訳文を付ける。またランニングタイトルは、和文で20字以内を明記し、keywords（5語以内）を付ける。KeywordsはMedical Subject Headings（国立医学図書館：最新号）を参考にする。
3. 本文中で引用文献に言及した場合、文章の右肩か著者名の右肩に、末尾の引用文献に照応する番号を付ける。3人以上の共著の場合は“ら”“et al.”を用いる。
  - 例1：長島<sup>1)</sup>によれば……………
  - 例2：手島と角田<sup>2)</sup>によれば……………
  - 例3：馬<sup>3)</sup>によれば……………
4. 文献表の作り方
  - 1) 引用文献の記載順序は本文中の引用順に整理して、本文中の番号と照合する。文献表の著者名は“ら”、“et al.”と省略せず、全著者名を列記する。人名の記載順は姓を先にして名を後にする。本文中に引用されていない文献は、文献表に記載しない。doiの記載を推奨する。
  - 2) 雑誌から直接引用する場合
    - 番号、著者名：論文表題、掲載雑誌、巻：頁（始頁－終頁）、西暦年数の順に記す。
    - 例1：長島未央子：長時間自転車運動が鍛練者の酸化ストレス度及び血中ビタミン濃度に及ぼす影響, 体力科学, 60: 279-286, 2011. doi: 10.7600/jspfsm.60.279.
    - 例2：手島貴範, 角田直也：身長相対発育からみた男子サッカー選手の大腿部筋厚発育とボールキック能力の発達, 体力科学, 60: 195-205, 2011. doi: 10.7600/jspfsm.60.195.
    - 例3：馬 佳濠, 柴田 愛, 村岡 功：インターネットを利用する中国成人における推奨身体活動充足に関連する社会人口統計学的要因, 体力科学, 60: 185-193, 2011. doi: 10.7600/jspfsm.60.185.
  - 3) 単行本から引用する場合
    - 番号、著者または編者名、章名、書名（章名がある場合は書名をイタリック体にする）、版数（括弧に入れる）、編者名（章著者がある場合）、発行所、発行所の所在地、引用頁、西暦年数の順に記す。
    - 例：彼末一之, 中島敏博. 4. 神経機構 I - 温度求心路と体温調節「中枢」-, 脳と体温 - 暑熱・寒冷環境との戦い -, 共立出版, 東京, 72-97, 2000.
  - 4) 訳本から引用する場合
    - 著者名, (訳者名), タイトル, 出版社, 地名, ページ, 出版年の順に記す。
    - 例：アメリカスポーツ医学協会編（日本体力医学会体力科学編集委員会監訳）, 運動処方



の指針-運動負荷試験と運動プログラム-原著第8版, 南江堂, 東京, 57-108, 2011.

5) 欧文の雑誌と単行本から引用する場合

例 1 : Steinberg SF. The molecular basis for distinct  $\beta$ -adrenergic receptor subtype actions in cardiomyocytes. *Circ Res* 85: 1101-1111, 1999. doi:10.1161/01.RES.85.11.1101.

例 2 : Bajotto G, Shimomura Y. Determinants of disuse-induced skeletal muscle atrophy: Exercise and nutrition countermeasures to prevent protein loss. *J Nutr Sci Vitaminol* 52: 233-247, 2006. doi:10.3177/jnsv.52.233.

例 3 : Sato S, Nomura S, Kawano F, Tanihata J, Tachiyashiki K, Imaizumi K. Effects of the  $\beta_2$ -agonist clenbuterol on  $\beta_1$ - and  $\beta_2$ -adrenoceptor mRNA expressions of rat skeletal and left ventricle muscles. *J Pharmacol Sci* 107: 393-400, 2008. doi:10.1254/jphs.08097FP.

例 4 : Shimomura Y, Murakami T, Nakai N, Nagasaki M. Exercise and metabolism in muscle cells: Molecular aspects of energy metabolism during exercise and adaptation to exercise training. *In: Exercise, Nutrition, and Environmental Stress Vol.1* (Nose H, Gisolfi CV, Imaizumi K, eds.), Cooper Publishing Group, LLC., MI, USA, 89-116, 2001.

B. ノート, 資料および事例報告 (症例報告を含む)

原著及び総説の投稿規定に準ずる. 但し, ノートおよび事例報告 (症例報告を含む) は原則として刷り上がり 4 頁以内, 図表は 2 点までとする.

C. 依頼総説および教育講座

1. 依頼総説および教育講座は, 体力科学編集委員会の依頼による.

2. 原稿について

1) 依頼原稿は刷り上がり 10 頁以内を原則とする.

2) いずれの原稿も表題, 著者名, 所属などは体力科学投稿規定 V-A に準じて英文名を附す. 教育講座では必ずしも英文抄録を必要としないが, 依頼総説では体力科学投稿規定 V-A に準ずる.

D. 地方会の抄録

原稿は, 一編 900 字以内で表題, 著者名, 所属, 本文を和文で記す.

※提出期限に遅れた場合, 本誌に掲載されない.

E. その他 (Letter to the Editor, 議事録, 学会記事, 会報など)

※Letter to the Editor の項では, 本誌に掲載された原著, 総説, その他の掲載内容についての質問, 疑問, コメント等を編集委員会に寄せ, それに対する回答を執筆者に求め, その内容を掲載する. 質問者も回答者もすべて実名とする.

VI. プレプリント

本誌では, 投稿前または投稿時に著者がプレプリントサーバ (JST の運営する Jxiv のみ: <https://jxiv.jst.go.jp/index.php/jxiv>) へ原稿を投稿することを認める. この方針は, 一次研究を記述した原稿の初版にのみ適用される. 査読者のコメントを受けて修正された原稿, 掲載受理 (アクセプト) された原稿および本誌に掲載された原稿は, Jxiv に投稿してはならない. Jxiv に投稿した原稿を本誌へ投稿する際は, その旨を記載するとともに doi を明記する必要がある.

また, Jxiv に投稿した原稿が本誌に掲載された場合, 著者はプレプリントを更新して本誌に掲載・公開された論文へのリンクを記載する必要がある. なお, Jxiv に投稿された原稿の著作権は, 著者が保持するものとする.

なお本誌では, Jxiv などプレプリントサーバに掲載された原稿を引用文献に加えることは原則的に認めない.

## Ⅶ. 倫理・利益相反

- A. 人体ならびにヒト組織を対象とした科学研究を取り扱う論文では、その実験は1964年のヘルシンキ宣言 (<https://www.wma.net/what-we-do/medical-ethics/declaration-of-helsinki/doh-jun1964/>) とその改訂版 (<https://www.wma.net/policies-post/wma-declaration-of-helsinki-ethical-principles-for-medical-research-involving-human-subjects/>)、あるいは国が定めた生命科学・医学系研究などの関連する最新のガイドラインや法令に従って実施されなければならない。また、ヒト遺伝子を取り扱う実験は、日本政府のヒトゲノム・遺伝子解析研究 (<https://www.mhlw.go.jp/general/seido/kousei/i-kenkyu/genome/0504sisin.html>) に従ってなされなければならない。日本体力医学会編集委員会では、所属機関等の研究倫理委員会の審査を受け、承認された研究論文の投稿を受け付ける。当該研究がこれらのガイドラインや法令に従って実施されたことを投稿論文内に明記し、さらに所属機関の倫理委員会が発行した承認書の承認番号を論文中に記載するものとする。
- B. 実験動物を対象とした研究においては、国が定めた動物実験関連法規・指針を遵守して実施されなければならない。投稿論文内にはその旨を必ず明記し、所属機関の動物実験委員会等が発行した当該動物実験承認書の承認番号を論文中に記載するものとする。
- C. 総説、原著論文、それに準ずる論文を投稿する際、日本体力医学会における事業遂行に係る利益相反 (COI) に関する指針 ([https://plaza.umin.ac.jp/jspfsm/coi/coi\\_guideline.htm](https://plaza.umin.ac.jp/jspfsm/coi/coi_guideline.htm)) に基づき、該当する場合には (「自己申告による利益相反申告書」(別紙様式1)) に記入し、併せて編集事務局に提出するものとする。
- また、記載例に倣って、論文末尾にCOIに関して記載するものとする。項目が網羅されていれば簡潔にまとめて記載できるものとする。記載箇所は参考文献の前とする。

### COIに記載を求める事項

- ①当該研究者の所属企業名 (部署名, 職名)
- ②当該企業からの出資 (出資がある場合)
- ③当該研究への関係企業の関与について (研究結果の学会発表や論文発表の決定に関して関係企業が影響力の行使を可能とする契約の有無)
- ④当該研究結果に影響を与えうる企業からの労務提供としての受け入れになっていないか
- ⑤その他、利益相反として申告すべきこと

### 記載例

- ・ A (著者) は Z 社 (企業) の社員 (取締役・顧問) である。
- ・ B の配偶者は Y 社の取締役 (顧問) である。ただし、本研究の結論に Y 社の影響はない。
- ・ C は X 社から研究費を受けた。ただし、本研究の結果解釈や結論に X 社の関与はない。
- ・ D は V 社から講演料を受けた。ただし、本研究の結論に V 社の影響はない。
- ・ E は U 社の特許を有している。ただし、本研究の結果解釈や結論に U 社の関与はない。
- ・ F は T 社から会議参加の費用提供を受けた。ただし、本研究の結果解釈や結論に T 社の関与はない。
- ・ G は S 社から販促資料執筆に対して謝礼を受けた。H は R 社より労務提供を受け入れた。ただし、本研究の結論に S 社および R 社の影響はない。
- ・ I に利益相反はない。
- ・ 共著者全員が利益相反はない。

定められた利益相反状態に該当しない場合は、論文末尾に上記の最後の例、「利益相反自己申告:



著者全員が利益相反はない」と記載するものとする。

## Ⅷ. 著者の資格と著者貢献

投稿に際しては、the International Committee of Medical Journal of Editors (ICMJE) の recommendations (<http://www.icmje.org/recommendations/browse/roles-and-responsibilities/defining-the-role-of-authors-and-contributors.html#two>) にしたがって、投稿原稿の研究における全ての著者の貢献（役割）を明確に説明するものとする。ICMJEでは、以下に示す4つの事項すべてを満たす者が著者であるとしており、これらの条件を満たさない研究者は謝辞に記載する。

- 1) 研究の概念化やデザインなど研究計画の立案, 得られたデータの分析や解釈に十分な貢献がある。
- 2) 研究の重要な内容に関して, 論文原稿の執筆あるいは推敲している。
- 3) 研究論文の発表に関して, 最終的な承認を行っている。
- 4) 研究内容の正確性や完全性に関連する質問が適切に調査あるいは解決されることを保証する上で, 作業のすべての側面に対して責任を負うことに同意する。

著者の役割は、最終原稿と共に印刷・公表される。したがって、当該研究における貢献を正確に反映する必要がある。

著者の役割の記載例にしたがって、投稿原稿の最後に、著者は著者全員の研究論文に対する貢献について、著者のイニシャルを使って記載するものとする。

### 記載例

- ・著者AA、著者BBと著者CCは、研究デザインとプロトコルを概念化し、研究機関を決定した。著者DDはデータ収集と組み立てを担当した。著者EEはデータの分析と解釈を担当した。草稿は著者AAが担当した。すべての著者は、原稿を批判的にレビューし、修正し、投稿を承認した。
- ・著者AAは、血液疾患および移植に関する患者データの分析ならびにその解釈を担当した。著者BBは、腎臓の組織学的検査を担当し、かつ原稿の執筆に大きな貢献をした。すべての著者は、最終原稿を熟読した上で、投稿を承認した。

附：投稿論文の種類は概ね次の基準によって分類される。

- 1) 原著：独創的研究で新しい事実と価値ある結論を有するもので、体力科学・スポーツ医学の進歩に貢献するものとする。
- 2) ノート：原著より短い、新しい事実や価値ある結論が含まれるものとする。
- 3) 資料：適切な分析法または調査法による有用な結果が含まれ、公表することにより体力科学・スポーツ医学の分野において会員の研究・実践活動に有用な情報を含むものとする。
- 4) 事例報告(症例報告を含む)：運動・スポーツ等による体力医学・スポーツ医学の立場からみた様々な効果または治療・指導効果等の事例報告。

## 論文の分類

### I 生理科学的研究

- I - 1 神経, 感覚
  - I - 1 - a 末梢神経
  - I - 1 - b 中枢神経
  - I - 1 - c 感覚
  - I - 1 - d 運動制御
- I - 2 運動器
  - I - 2 - a 筋生理
  - I - 2 - b 筋生化学
  - I - 2 - c 骨, 関節
- I - 3 呼吸, 循環
  - I - 3 - a 呼吸
  - I - 3 - b 心臓
  - I - 3 - c 末梢循環
- I - 4 血液, 免疫
  - I - 4 - a 血液
  - I - 4 - b 免疫
- I - 5 体液, 内分泌
  - I - 5 - a 体液, 汗, 尿
  - I - 5 - b 内分泌
- I - 6 代謝
  - I - 6 - a エネルギー代謝
  - I - 6 - b 糖代謝
  - I - 6 - c 蛋白代謝
  - I - 6 - d 脂質代謝
- I - 7 栄養, 消化
  - I - 7 - a 栄養
  - I - 7 - b 消化, 吸収
- I - 8 形態, 体構成
- I - 9 加齢, 性差
  - I - 9 - a 発育発達
  - I - 9 - b 老化
  - I - 9 - c 性差
- I - 10 環境
  - I - 10 - a 温湿度
  - I - 10 - b 気圧, 風圧
  - I - 10 - c 低酸素
  - I - 10 - d 高酸素

### I - 11 トレーニング

- I - 11 - a 呼吸, 循環
- I - 11 - b 代謝
- I - 11 - c 筋骨格系他
- I - 11 - d 体組成
- I - 11 - e その他

### I - 12 生活, 健康

- I - 12 - a 休養, 疲労
- I - 12 - b 健康管理
- I - 12 - c 疫学

### I - 13 バイオメカニクス

- I - 13 - a 力学的情報
- I - 13 - b 動作分析
- I - 13 - c その他

### I - 14 遺伝子

- I - 14 - a 遺伝子多型
- I - 14 - b 遺伝子制御
- I - 14 - c その他

### I - 15 その他

### II スポーツ医学的研究

#### II - 1 スポーツと疾患

- II - 1 - a 呼吸器疾患
- II - 1 - b 循環器疾患
- II - 1 - c 代謝疾患
- II - 1 - d スポーツ外傷
- II - 1 - e スポーツ障害
- II - 1 - f スポーツ歯科
- II - 1 - g その他の疾患

#### II - 2 リハビリテーション, 運動療法

- II - 2 - a リハビリテーション
- II - 2 - b 運動療法

#### II - 3 薬物, ドーピング

#### II - 4 スポーツ心理学

#### II - 5 その他

# *Journal of Physical Fitness and Sports Medicine*

## Instructions to Authors



<b>Aims and Scope</b>	<b>1</b>
<b>Manuscript Types</b>	<b>1</b>
<b>Journal &amp; Ethics Policies</b>	<b>2</b>
<b>Peer Review Process</b>	<b>6</b>
<b>Copyright, Open Access and Fees</b>	<b>9</b>
<b>Manuscript Submission</b>	<b>10</b>
<b>Manuscript Preparation</b>	<b>11</b>
<b>Accepted Manuscripts</b>	<b>15</b>
<b>Contact</b>	<b>15</b>

### **Aims and Scope**

*The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFSM)* is an Open Access journal that publishes peer-reviewed articles on modern physical fitness and sports medicine. The journal publishes Regular Articles, Short Communications, Case Reports, Study Profiles, Reviews, Short Reviews, Letters to the Editor, and Proceedings.

*JPFSM's* scope includes physical fitness, sports medicine, exercise physiology and metabolism, muscle biology, biomechanics, bone homeostasis, training sciences, aging and stress responses, health sciences, circadian biology, rehabilitation, and other interdisciplinary sciences.

As the official peer-reviewed journal of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine, *JPFSM* serves an ever-growing role in the support of the physical fitness and sports medicine community, especially in Asia. The journal employs rigorous peer review of manuscripts to ensure the highest scientific, publishing and ethical standards for our broad audience of researchers, clinicians, policy makers and others physical fitness professionals.

### **Manuscript Types**

The journal welcomes 8 manuscript types, all of which are subject to peer review.

*Regular Articles:* Original research undertaken by the author(s) which is novel and significant. Regular Articles should be 6,500 words or less.

*Short Communications:* Original research undertaken by the author(s), which is more preliminary or has more limited outcomes, than that for Regular Articles. They must be of general or special interest. Short Communications may also contain interesting, potentially significant observations, or negative results that are of narrow scope. Short Communications should be 2,400 words or less.

*Case Reports:* Brief reports of rare examples or medical cases without precedent, but not hypothesis testing. These articles should be 2,400 words or less.

*Study Profiles:* Study Profiles describe the details of the design, rationale, methods and analyses, baseline data (if applicable), and outcomes to date (if applicable) of clinical trials or cohort studies. Study Profiles provide more information than the trial registry or the methods section of a Regular Article and aim to aid in the prevention of unnecessary duplication of research and increase transparency. Therefore, preference is given to studies with an extended follow-up or implementation periods. Study Profiles should be 6,500 words or less, and must conform to the relevant reporting guidelines listed in the EQUATOR NETWORK (<https://www.equator-network.org/>), such as the SPIRIT Statement (Standard Protocol Items: Recommendations for Interventional Trials) (<http://www.spirit-statement.org/>).

*Reviews:* Reviews present novel or unique overviews of recent or important developments in the field. Reviews must be insightful and must address the question(s) of interest using appropriate and fully presented evidence; exhaustive general summaries will not be published. Reviews are usually commissioned by the Editors, however the journal welcomes proposals of 400-800 words, which should be emailed to the Editorial Office. Reviews should be 6,500 words or less.

*Short Reviews:* Short articles that are overviews of recent research from an author's own laboratory, which should be 2,400 words or less. Short reviews are also commissioned by the Editors, however the journal welcomes proposals of 400-800 words, which should be emailed to the Editorial Office.

*Letters to the Editor:* Constructive comments and questions on regular articles, reviews, and other articles published in the journal. An opportunity will be provided for rebuttal to the authors in question. Responses from the authors, together with the names of authors and names of those submitting questions or comments, will be published. Instead of using the Editorial Manager online submission system, Letters to the Editor should be emailed to the Editorial Office as an attached PDF. ([hj-tairyoku@turui.co.jp](mailto:hj-tairyoku@turui.co.jp))

*Proceedings:* Short summaries of in-progress or completed primary studies that have been presented at the General Sessions of the Annual Meeting of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine (JSPFSM), but have not yet been published in a journal. Proceedings articles (up to 1,800 characters) are published in Issue 6 of the journal each year.

## **Journal & Ethics Policies**

*JPFMS* upholds the highest standards in scholarly publishing.

Before submitting a manuscript to the journal, authors must ensure that they have read and complied with the journal's policies. The journal reserves the right to reject without review, or retract, any manuscript that the Editor-in-Chief believes may not comply with these policies.

The responsibilities of the journal's authors, editors, reviewers and publisher regarding research and publication ethics are described in full below.

Submission to the journal implies that the manuscript has not been previously published (in part or in whole, in any language), is not in press, and is not under consideration for publication elsewhere.

Authors must inform the editors if any related manuscripts are under consideration, in press or published elsewhere. The availability of a manuscript on a publicly accessible preprint server does not constitute prior publication (see ‘Preprints’).

If authors choose to submit their manuscript elsewhere before a final decision has been made on its suitability for publication in *JPFSM*, they should first withdraw it from the journal.

### **Submission**

*JPFSM* welcomes manuscript submissions from authors based anywhere in the world.

Submission of a manuscript to the journal implies that all authors: have approved it, warrant it is factual, have agreed to its submission, and have the right to publish it.

### **Originality**

Submission to the journal implies that the manuscript is original work. The journal may use Similarity Check plagiarism software (provided by Crossref and powered by iThenticate) to screen manuscripts for unoriginal content. By submitting a manuscript to the journal, authors agree to this screening. Any manuscript with an unacceptable level of unoriginal material may be rejected or retracted at the Editors’ discretion.

### **Preprints**

To support the wide dissemination of research, the journal encourages authors to post their research manuscripts on community-recognized preprint servers, either before or alongside submission to the journal. This policy applies only to the original version of a manuscript that describes primary research. Any version of a manuscript that has been revised in response to reviewers’ comments, accepted for publication or published in the journal should not be posted on a preprint server. Instead, forward links to the published manuscript may be posted on the preprint server. When submitting a manuscript which is also posted on a preprint server, authors must disclose preprint posting information (registered server and DOI).

Authors should retain copyright in their work when posting to a preprint server.

### **Secondary Publication**

A manuscript can be approved for secondary publication if it meets the conditions of the International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) [recommendations](#), and the Editor-in-Chief acknowledges its necessity as a secondary publication. If secondary publication of a manuscript is desired, please submit to the Editorial Office a summary of the manuscript content and a reason for the necessity of secondary publication. A manuscript submitted for secondary publication will be reviewed in the same manner as other manuscripts not previously published.

### **Scoping**

When assessing the novelty of a manuscript submitted to the journal, the editors will not be influenced by other manuscripts that are posted on community-recognized preprint servers after the date of submission to *JPFSM* (or after the date of posting on a preprint server, if the manuscript is submitted to the journal within 4 months).

### **Authorship**

Submission to the journal implies that all authors have seen and approved the author list. Changes to the author list after manuscript submission – such as the insertion or removal of

author names, or a rearrangement of author order – must be approved by all authors and the editor.

The contributions of all authors must be described at submission based on the International Committee of Medical Journal of Editors (ICMJE) recommendations as follows:

- 1) Substantial contribution to the conception or design of the work, or the acquisition, analysis, or interpretation of data for the work.
- 2) Drafting the work or critically revising it for important intellectual content.
- 3) Final approval of the version to be published.
- 4) Agreement to be accountable for all aspects of the work in ensuring that questions related to the accuracy or integrity of any part of the work are appropriately investigated and resolved.

Each manuscript must contain a ‘Contributions’ section before the References section as described in the ‘Manuscript Preparation’ section below.

Authors cannot be added or deleted from the paper after peer review, nor order of authors changed, without valid reasons and the approval of the Editor-in-Chief.

### **Image integrity**

Authors may digitally manipulate or process images, but only if the adjustments are kept to a minimum, are applied to the entire image, meet community standards, and are clearly described in the manuscript. All images in a manuscript must accurately reflect the original data on which they are based. Authors must not move, remove, add or enhance individual parts of an image. The editors reserve the right to request original, unprocessed images from the authors. Failure to provide requested images may result in a manuscript being rejected or retracted.

### **Reproducing copyrighted material**

If a manuscript includes material that is not under the authors’ own copyright, the authors must obtain permission from the copyright holder(s) to reproduce it.

If a manuscript includes previously published material, the authors must obtain permission from the copyright owners and the publisher of the original work to reproduce it. The authors must cite the original work in their manuscript.

Copies of all reproduction permissions must be included with the manuscript when it is first submitted.

### **Availability of data and materials**

Authors must disclose the source of publicly available data and materials, such as public repositories or commercial manufacturers, by including accession numbers or company details in their manuscript, as appropriate.

Authors may make their own data and materials available by linking from their manuscript to J-STAGE Data (see below) or other relevant community-recognized public databases or digital repositories. All data sets must be made available in full to the editors and reviewers during the peer review process if requested. Authors commit to preserving their data sets for at least five years from the date of publication in the journal.

The journal encourages authors to grant reasonable requests from colleagues to share any data, materials and experimental protocols described in their manuscript.

### **J-STAGE Data**

JPFMS recommends that the data underlying the manuscript be made available on J-STAGE Data, a data repository operated by the Japan Science and Technology Agency. Authors who opt to make data available on J-STAGE Data should contact the Editorial Office for further instructions. If authors wish to publish data from J-STAGE Data, they must submit the data and its metadata to the editorial board for peer review. The copyright of the data published by J-STAGE Data is held by JSPFSM. Data is made available under the Creative Commons CC BY-NC-ND 4.0 (Attribution-NonCommercial- NoDerivatives 4.0 International).

### **Animal/human experimentation**

Authors of manuscripts describing work involving humans and/or human tissues must demonstrate that the work has been performed in accordance with the ethical standards formulated in the Helsinki Declaration of 1964, its revisions, and/or the latest version of the Ethical Guideline for Medical and Biological Research Involving Human Subjects.

Experiments describing work with the human genome should be conducted according to the Japanese Government's "Ethical Guidelines for Human Genome/ Gene Analysis Research".

Furthermore, work in relevant manuscripts must have received approval from the appropriate Institutional Ethics Committee (IEC) prior to being undertaken. The 'Materials and Methods' section must include the relevant ethics statements and specify: the study was carried out in accordance with the appropriate guidelines, and the name of the approving institutional review board or equivalent committee(s) with the approval number.

Manuscripts describing animal experiments must be conducted in accordance with the experimental animal guidelines of the institution as well as the appropriate government guidelines, such as those published by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. The 'Materials and Methods' section of relevant manuscripts must include required ethics statements and specify: the study was conducted according to the appropriate guidelines, the full name of the institutional Animal Care and Use Committee or equivalent ethics committee that approved the work, and the associated permit number(s).

### **Clinical trial registration**

The journal adheres to the International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) policy on Clinical Trials Registration, which recommends that all clinical trials are registered in a public trials registry at or before the time of first patient enrollment as a condition of consideration for publication. Manuscripts describing clinical trials must include the registration number of the trial and the name of the trial registry.

### **Reporting guidelines**

The journal requires authors to follow the EQUATOR Network's Reporting Guidelines for health research. Study types include, but are not limited to, randomized trials, observational studies, systematic reviews, case reports, qualitative research, diagnostic and prognostic studies, economic evaluations, animal pre-clinical studies and study protocols.

**Author competing interests and conflicts of interest**

In the interests of transparency, the journal requires all authors to declare any competing or conflicts of interest in relation to their submitted manuscript. A conflict of interest exists when there are actual, perceived or potential circumstances that could influence an author's ability to conduct or report research impartially. Potential conflicts include (but are not limited to) competing commercial or financial interests, commercial affiliations, consulting roles, or ownership of stock or equity.

Authors should list all funding sources for their work in the Acknowledgements section of their manuscript.

When submitting a manuscript, authors must declare a conflict of interests (COI) in accordance with the JSPFSM [guidelines](#). In the event the guidelines are partially applicable, the relevant portion(s) should be described in the "Declaration of Conflict of Interest by Self-report." ([Form 1](#)) and uploaded upon first submission of the manuscript.

Authors should declare any conflicts of interest after the Conflict of Interest section as described in the 'Manuscript Preparation' section below.

**Confidentiality**

The journal maintains the confidentiality of all unpublished manuscripts. By submitting their manuscript to the journal, the authors warrant that they will keep all correspondence about their manuscript (from the Editorial Office, editors and reviewers) strictly confidential.

**Self-archiving (Green Open Access) policy**

Self-archiving, also known as Green Open Access, enables authors to deposit a copy of their manuscript in an online repository. *JPFMS* encourages authors of original research manuscripts to upload their article to an institutional or public repository immediately after publication in the journal.

**Long-term digital archiving**

J-STAGE preserves its full digital library, including *JPFMS*, with Portico in a dark archive (see <https://www.portico.org/publishers/jstage/>). In the event that the material becomes unavailable at J-STAGE, it will be released and made available by Portico.

**Advertising Policy**

The journal does not accept advertising on its article pages, the journal's website, or elsewhere.

**Peer Review Process****Editorial and peer review process**

The journal uses single-blind peer review. When a manuscript is submitted to the journal, it is screened by the Editorial Office for the basic technical requirements. It is then assigned to the Editor-in-Chief, who performs an initial screening. Manuscripts that do not fit the technical requirements, journal's scope or are not deemed suitable for publication are rejected without review. Proceedings summaries are screened for suitability, but not sent to peer reviewers. The remaining manuscripts are assigned to an Editor who assigns two reviewers to assess each manuscript. Reviewers are selected based on their expertise, reputation and previous experience as peer reviewers. The deadline for submission of the reviewers' reports varies by article type.

Upon receipt of the two reviewers' reports, the Editor makes the first decision on the manuscript. If the decision is to request revision of the manuscript, authors have 2 months to resubmit their revised manuscript. Revised manuscripts submitted after this deadline may be treated as new submissions. The Editor may send revised manuscripts to peer reviewers for their feedback or may use his or her own judgement to assess how closely the authors have followed the Editor's and the reviewers' comments on the original manuscript.

The Editor then makes a recommendation to the Editor-in-Chief on the manuscript's suitability for publication. The Editor-in-Chief is responsible for making the final decision.

The members of the Editorial Board act in advisory roles, providing feedback as reviewers and making suggestions to improve the journal. In cases where the Editor-in-Chief is an author on a manuscript submitted to the journal, a member of the Editorial Board is responsible for making the final decision on the manuscript's suitability for publication in the journal. Any member of the journal's Editorial Board, including the Editor-in-Chief who is an author on a submitted manuscript is excluded from the peer review process.

### **Reviewer selection, timing and suggestions**

Reviewers are selected without regard to geography and need not belong to the journal's Editorial Board. Reviewers are selected based on their expertise in the field, reputation, recommendation by others, and/or previous experience as peer reviewers for the journal.

Reviewers are invited within 2 weeks of an article being submitted. Reviewers are asked to submit their first review within 2 weeks of accepting the invitation to review. Reviewers who anticipate any delays should inform the Editorial Office as soon as possible.

When submitting a manuscript to the journal, authors may suggest reviewers that they would like included in or excluded from the peer review process. The Editor may consider these suggestions but is under no obligation to follow them. The selection, invitation and assignment of peer reviewers is at the Editor's sole discretion.

### **Reviewer reports**

It is the journal's policy to transmit reviewers' comments to the authors in their original form. However, the journal reserves the right to edit reviewers' comments, without consulting the reviewers, if they contain offensive language, confidential information or recommendations for publication.

### **Acceptance criteria**

If a manuscript satisfies the journal's requirements and represents a significant contribution to the published literature, the Editor may recommend acceptance for publication in the journal.

Articles in *JPFSM* must be:

- within the subject area of the journal's scope
- novel and original
- descriptions of technically rigorous research
- of high interest to the journal's audience
- important additions to the field.

If a manuscript does not meet the journal's requirements for acceptance or revision, the Editor may recommend rejection.

### **Editorial independence**

As the journal owner, the JSPFSM has granted the journal's Editorial Board complete and sole responsibility for all editorial decisions. The JSPFSM will not become involved in editorial decisions, except in cases of a fundamental breakdown of process.

Editorial decisions are based only on a manuscript's scientific merit and are kept completely separate from the journal's other interests. The authors' ability to pay any publication charges has no bearing on whether a manuscript is accepted for publication in the journal.

### **Appeals**

Authors who believe that an editorial decision has been made in error may lodge an appeal with the Editorial Office. Appeals are only considered if the authors provide detailed evidence of a misunderstanding or mistake by a reviewer or editor. Appeals are considered carefully by the Editor-in-Chief, whose decision is final. The guidelines of the Committee on Publication Ethics (COPE) are followed where and when relevant.

### **Editor confidentiality in peer review**

The journal maintains the confidentiality of all unpublished manuscripts. Editors will not:

- disclose a reviewer's identity unless the reviewer makes a reasonable request for such disclosure
- discuss the manuscript or its contents with anyone not directly involved with the manuscript or its peer review
- use any data or information from the manuscript in their own work or publications
- use information obtained from the peer review process to provide an advantage to themselves or anyone else, or to disadvantage any individual or organization.

### **Conflicts of interest in peer review**

A conflict of interest exists when there are actual, perceived or potential circumstances that could influence an editor's or reviewer's ability to act impartially when assessing a manuscript. Such circumstances might include having a personal or professional relationship with an author, working on the same topic or in direct competition with an author, having a financial stake in the work or its publication, or having seen previous versions of the manuscript.

Members of the journal's Editorial Board undertake to avoid or declare any conflicts of interest when handling manuscripts, but it is not always possible to identify potential bias. An editor who declares a conflict of interest is unassigned from the manuscript in question and is replaced by a new editor. Reviewers are asked to declare any conflicts of interest to the Editor, who will determine the best course of action.

### **Errata and retractions**

The journal recognizes the importance of maintaining the integrity of published literature.

A published article that contains an error may be corrected through the publication of an Erratum. Errata describe errors that significantly affect the scientific integrity of a publication, the reputation of the authors, or the journal itself. Authors who wish to correct a published article should contact the editor who handled their manuscript or the Editorial Office with full details of the error(s) and their requested changes. In cases where co-authors disagree over a

correction, the Editor-in-Chief may consult the Editorial Board or external peer reviewers for advice. If a Correction is published, any dissenting authors will be noted in the text.

A published article that contains invalid or unreliable results or conclusions, has been published elsewhere, or has infringed codes of conduct (covering research or publication ethics) may be retracted. Individuals who believe that a published article should be retracted are encouraged to contact the journal's Editorial Office with full details of their concerns. The Editor-in-Chief will investigate further and contact the authors of the published article for their response. In cases where co-authors disagree over a retraction, the Editor-in-Chief may consult the Editorial Board or external peer reviewers for advice. If a Retraction is published, any dissenting authors will be noted in the text.

The decision to publish Errata or Retractions is made at the sole discretion of the Editor-in-Chief.

### **Responding to potential ethical breaches**

The journal will respond to allegations of ethical breaches by following its own policies and, where possible, the guidelines of [COPE](#).

### **Reviewer Confidentiality**

As part of their responsibilities, reviewers agree to maintain the confidentiality of unpublished manuscripts at all times. By accepting the invitation to review a manuscript, reviewers agree not to:

- disclose their role in reviewing the manuscript
- reveal their identity to any of the authors of the manuscript
- discuss the manuscript or its contents with anyone not directly involved in the review process
- involve anyone else in the review (for example, a post-doc or PhD student) without first requesting permission from the Editor
- use any data or information from the manuscript in their own work or publications
- use information obtained from the peer review process to provide an advantage to themselves or anyone else, or to disadvantage any individual or organization.

### **Copyright, Open Access and Fees**

*JPFMS* is fully Open Access and uses a Creative Commons (CC) license to publish articles, which allows users to use, reuse and build upon the material published in the journal without charge or the need to ask prior permission from the publisher or author, within the stated conditions of the license. More details on the CC license used are below.

### **Copyright and licensing**

Authors are required to assign all copyrights in the work to the JSPFSM, who then publish the work under the Creative Commons [CC BY-NC-ND 4.0](#) (Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International). This license allows users to share unmodified articles, non-commercially, as long as appropriate credit is given.

Some funding bodies require articles funded by them to be published under a specific Creative Commons license. Before submitting your work to the journal, check with the relevant funding bodies to ensure that you comply with any mandates.

### Page and color charges

There are many costs associated with publishing scholarly journals, such as those of managing peer review, copy editing, typesetting and online hosting. To cover these costs in the absence of journal subscriptions, authors (or their representatives) are asked to pay page charges. There is no submission fee.

Page charges are listed in the table below (in Japanese yen, not including tax). The corresponding Author will be invoiced after publication. Invited Reviews and Short Reviews have no page charges.

Color charges are only charged if authors choose to have color figures in the print version. The Editorial Office liaises with authors as required after acceptance, and charges are listed below.

	Page Charge (yen/page)	Color figures (yen/page)
<b>Regular Article</b>	5,000	20,000
<b>Short Communication</b>	5,000	20,000
<b>Case Report</b>	5,000	20,000
<b>Study Profile</b>	5,000	20,000
<b>Review (submitted)</b>	5,000	20,000
<b>Short Review (submitted)</b>	5,000	20,000
<b>Letters to the Editor</b>	0	0
<b>Correction</b>	10,000	20,000

### Waiver policy

Waivers for page charges are provided automatically when the corresponding author is from a “Group A” Research4Life country. In cases of demonstrated financial hardship, the journal will consider a pre-submission application for a waiver from any corresponding author to [[hj-tairyoku@turuiin.co.jp](mailto:hj-tairyoku@turuiin.co.jp)]. Applications cannot be made after the peer review process has begun.

The ability of an author to pay the APC does not influence editorial decisions. To avoid any possibility of undue influence, Editors involved with the decision-making process for articles are not involved in any deliberations on waivers.

### Manuscript Submission

All manuscripts except Letters to the Editor and Proceedings articles must be submitted via the journal’s online submission system, Editorial Manager: <http://www.editorialmanager.com/jpfsm/>. The original or revised manuscript text may be uploaded as a PDF or Microsoft Word file, but a Word file is required for the final manuscript text. Figures may be submitted separately in several other formats.

Letters to the Editor must be submitted via [hj-tairyoku@turuiin.co.jp](mailto:hj-tairyoku@turuiin.co.jp) as an attached file.

Proceedings articles must be submitted through the Annual Meeting website by the submission deadline. Proceedings submission guidelines will be available at the Annual Meeting website.

If you encounter any problems with your submission, please contact the Editorial Office at the details provided in the Contact section below.

## Manuscript Preparation

### Required Submission Form

A completed 'Required Submission Form' must be uploaded with the manuscript as a cover letter.

### Style

Manuscripts should be prepared in Microsoft Word or other appropriate software, with margins of at least 3 cm. Authors should use Times New Roman 12pt font double-spaced on A4 size paper, single sided and line-numbered throughout.

### English standards

Only manuscripts that are written in clear and concise English will be considered for peer review. If English is not the authors' first language, the Editorial Board recommends the manuscript receives professional editing service before submitting their manuscript to the Journal. English editing and revision will be conducted on manuscripts whose English grammar, spelling, etc. is judged to be inadequate by the Editorial Board.

### Title Page, Abstract, keywords and other

The title page (page 1) should start with the type of manuscript (Regular Article, Short Communication, Review, etc.), the title, name(s) of the author(s), affiliation(s), mailing address(es), number of tables and figures, a brief running title (70 characters or less). The corresponding author's e-mail address should be included in the title page. An asterisk (\*) should be added to the right of the corresponding author's name.

The Abstract (page 2) should clearly express the basic content of the paper in a single paragraph and should include the problem addressed, experimental approach, main results and findings, and conclusions. Abstracts must not exceed 250 words for all article types. Avoid using specific abbreviations. If it is essential to refer to a previous publication, omit the article title (e.g. Maekawa, S., Endo, S., and Sakai, H. (2015). *Sci. Journal.*, 14: 10–15).

Three to six descriptive keywords should be included after the Abstract, listed in decreasing order of importance. The keywords must be less than 80 characters and independent of each other.

Upon acceptance of an article by the Journal, the abstract will be published on the homepage of the Japanese Society of Physical Fitness and Sports Medicine.

If a manuscript is written by authors resident in Japan Page 3 should contain the following information in Japanese: article title, author(s) names, affiliation(s), and abstract.

### Title

The title should describe the content of the article briefly but clearly and is important for search purposes by third-party services. Do not use the same main title with numbered minor titles, even for a series of papers by the same authors. Do not use abbreviations in the title, except those used generally in related fields.

### Affiliations

For the Title Page, provide full names and addresses of institutions (including laboratory, department, institute and/or university, city, state and country).

When there are two or more authors and they belong to more than one affiliation, the connection between each author and his or her affiliation should be indicated by italicized superscript <sup>1</sup>, <sup>2</sup>, <sup>3</sup>... placed after each author's name and before each affiliation. Examples can be seen in recent issues of the journal.

### **Running Title**

The running title should not exceed 50 characters, including spaces.

### **Abbreviations**

Each abbreviation should be defined in parentheses together with its non-abbreviated term when it first appears in the text (except in the Title and Abstract). Common abbreviations that may be used without any explanation include the list below.

AMP, ADP, ATP, cAMP, cDNA, CoA, DNA, RNA, mRNA, LD50, FAD, FMN, GMP, P450.

### **Units and nomenclature**

The following units should be used: length (m, cm, mm,  $\mu\text{m}$ , nm), mass (kg, g, mg,  $\mu\text{g}$ , ng, pg, mol, mmol,  $\mu\text{mol}$ , nmol), volume (l, ml,  $\mu\text{l}$ ), time (s, min, h, d), temperature ( $^{\circ}\text{C}$ , K), radiation (Bq, Ci, dpm, Gy, rad), and concentration (M, mM, mol/l, mmol/l, mg/ml,  $\mu\text{g/ml}$ , ng/ml, pg/ml, %, %(v/v), %(w/v), ppm, ppb).

Otherwise, SI or SI-derived units should be used. More information on SI units is available at the [Bureau International des Poids et Mesures \(BIPM\) website](http://www.bipm.org).

The nomenclature used for chemical compounds shall be in accordance with the relevant IUPAC rules.

### **Main text**

Each Original Article should comprise the following main text sections in this order: Introduction, Materials and Methods, Results and Discussion. The Results and Discussion may also be combined as Results and Discussion), Acknowledgments, References. (The Contributions and Conflicts of Interest sections should follow the main text).

Case Reports should be organized as follows: Abstract, Introduction, Case Report, Discussion, References. (The Contributions and Conflicts of Interest sections should follow the References section).

The organization of other article types is up to author preference.

### **Acknowledgments**

This section should be brief. Authors should list all funding sources for their work in the Acknowledgements section.

### **References**

References should be restricted to only those that are essential, and extensive review of the literature should be avoided. References cited in the text should be numbered (in italic) in order of appearance and listed at the end of the text. Indication of doi (digital object identifier) is encouraged.

*For references with only one author:*

Steinberg SF. 1999. The molecular basis for distinct  $\beta$ -adrenergic receptor subtype actions in cardiomyocytes. *Circ Res* 85: 1101-1111. doi: 10.1161/01.RES.85.11.1101.

*Two authors:*

Bajotto G and Shimomura Y. 2006. Determinants of disuse-induced skeletal muscle atrophy: Exercise and nutrition countermeasures to prevent protein loss. *J Nutr Sci Vitaminol* 52: 233-247. doi: 10.3177/jnsv.52.233.

*Up to twenty authors:*

Author A, Author B, Author C, Author D, Author E, Author F, Author G, Author H, Author I, Author J, Author K, Author L, Author M, Author N, Author O, Author P, Author Q, Author R, Author S and Author T. 2008. Effects of the  $\beta$ 2-agonist clenbuterol on  $\beta$ 1- and  $\beta$ 2-adrenoceptor mRNA expressions of rat skeletal and left ventricle muscles. *J Pharmacol Sci* 107: 393-400. doi: 10.1254/jphs.08097FP.

*More than twenty authors; list the first twenty followed by et al.:*

Author A, Author B, Author C, Author D, Author E, Author F, Author G, Author H, Author I, Author J, Author K, Author L, Author M, Author N, Author O, Author P, Author Q, Author R, Author S and Author T. et al. 2012. Some aspects of heat stress on the plasticity of skeletal muscle cells. *J Phys Fitness Sports Med* 1: 197-204. doi: 10.7600/jpfs.1.197.

*Citation from a book:*

Shimomura Y, Murakami T, Nakai N and Nagasaki M. 2001. Exercise and metabolism in muscle cells: Molecular aspects of energy metabolism during exercise and adaptation to exercise training. In: *Exercise, Nutrition, and Environmental Stress* (Nose H, Gisolfi CV, Imaizumi K, eds.), 1: 89-116, Cooper Publishing Group, LLC., MI, USA.

*Citation from a paper in Japanese:*

Nagashima M. 2011. Effects of endurance exercise on oxidative stress and antioxidant vitamin levels in trained cyclist. *Tairyoku Kagaku (Jpn J Phys Fitness Sports Med)* 60: 279-286 (in Japanese). doi: 10.7600/jspfs.60.279.

If more than two references with the same year and author(s) are cited, use lowercase letters after the year (Tanaka et al. 2015a, 2015b). Lowercase letters should be inserted in same-year references in the reference list

**Tables**

Number tables consecutively using Arabic numerals (Table 1, Table 2, etc.). A title should be given at the top of each table. Explanatory material and footnotes should be typed below the table and should be designated with superscript letters, such as a) or b). Units of measurement should be included with numerical values at the top of columns. Avoid detailed explanations of the experimental conditions used to obtain the data shown in tables (which should be included in other sections as relevant).

**Figures**

Figures should be of high enough resolution for direct reproduction for printing. Note that 'figures' includes line drawings and photographs, as well as charts. Magnifications of photographs should be indicated in the legends and/or by scales included in the photographs.

Illustrations must be self-explanatory and they should be numbered consecutively with Arabic numerals (i.e., Fig. 1, Fig. 2, etc.). Each figure should have a short title. Figure legends should be typed together in a separate sheet(s). Figure legends should include sufficient experimental details to make the figures intelligible; however, duplicating the descriptions provided in other sections should be avoided.

Drawings prepared with the aid of software packages are acceptable as long as they are high-quality print-out ready. Drawings prepared for oral presentation are seldom suitable for use in printed documents. All figures should be marked with the first author's name and number in the lower right corner of each sheet.

The appropriate location of each table or table embedded in the text should be indicated in red ink in the margin of the manuscript. Duplication of data in tables and figures should be avoided. The cost of color reproduction of figures will be charged to the author(s).

### **Contributions**

A Contributions section must be included that concisely describes each author's contributions; use initials to indicate author identity. It is expected that all authors will have reviewed, discussed, and agreed to their individual contributions ahead of time. Contributions statements will be published in the final article, and they should accurately reflect contributions to the work.

If authors do not meet the ICMJE recommendations for authorship (see the 'Authorship' section), they should be acknowledged in the Acknowledgements section.

The following are some example statements.

*Example 1:* AA, BB and CC conceptualized the study design and protocol, and determined the study institutions. DD collected and assembled the data. EE carried out the analysis and interpretation of data. AA drafted the manuscript. All authors have critically reviewed, revised and approved the manuscript.

*Example 2:* Experiment conception and design: AA and BB. Experiment implementation: CC. Data analysis: DD and EE. Paper composition: AA. Analyzing and writing advisory: BB and CC. All authors approved the final version of the manuscript.

*Example 3:* Conceived and designed the study: AA. Performed the study: BB, CC, DD. Analyzed the data: FF and EE. Interpreted the data: AA and BB. Wrote the paper: AA. All authors approved the final version of the manuscript.

*Example 4:* AA analyzed and interpreted the patient data regarding hematological disease and transplants. BB performed the histological examination of the kidney, and was a major contributor in writing the manuscript. All authors read and approved the final manuscript.

### **Conflicts of Interest**

A Conflicts of Interest statement must be included in each manuscript. Background guidance is supplied in the 'Author competing interests and conflicts of interest' section above. See also the JSPFSM [guidelines](#).

Each statement must include the following elements, as relevant:

1. Name(s) of the company of authors (including the position and the department)
2. All financial support from the business that the authors work for (if the submitted research is financially supported by a business)
3. Description of funder's role in the study design, collection, analysis, and interpretation of data, writing of the paper, and/or decision to submit for publication
4. Labor supply from the business
5. Any other conflicts of interest.

Example statements are as follows:

*Example 1.* The authors have read the journal's policy and have the following conflicts: AA, BB, CC, DD, and EE are employees of XXX Corporation, who supported the present study, in part. However, the sponsor had no role in the study design, data collection and analysis, decision to publish, or preparation of the manuscript. There are no patents, products in development or marketed products to declare. The authors declare no competing interests.

*Example 2.* AA, BB, CC, and DD are employees of YYY Corporation. EE has not received any payments for a given study from YYY Corporation. The authors have declared that no competing interests exist. This does not alter the authors' adherence to the Journal of Physical Fitness and Sports Medicine's policies.

*Example 3.* In the event there are no conflicts of interest within the policies stated within this document (or as referred to elsewhere), this should be declared by writing "Conflicts of Interest: The author(s) declare that there are no conflicts of interest".

## Accepted Manuscripts

After a manuscript has been accepted, authors will require to submit the final manuscript files to Editorial Manager. Manuscripts that are accepted for publication are copyedited and typeset by the journal's production team before publication. The journal is published 6 times per year in print and online. All communication regarding accepted manuscripts is with the corresponding author.

### Proofs

Page proofs are sent to the corresponding author, who should check and return them within 7 days. Only essential corrections to typesetting errors or omissions are accepted; excessive changes are not permitted at the proofing stage.

### Reprints

Order forms for reprints are sent with the proofs to the corresponding author and should be returned with the proofs.

## Contact

To contact the Editorial Office or the Editor-in-Chief, please write to:

### Editorial Office

1-1 Doai Oyodogawa, Tsuruoka, Yamagata 997-0854, Japan

E-mail: [hj-tairyoku@turui.co.jp](mailto:hj-tairyoku@turui.co.jp)

For other matters, write to:

**Business Office**

4F, 5-3-13 Otsuka, Bunkyo-ku, Tokyo 112-0012, Japan

E-mail: [jspfsm@asas-mail.jp](mailto:jspfsm@asas-mail.jp)

Updated: 28 October 2020

Updated: 1 October 2021

Updated: 22 July 2022

Updated: 26 January 2024

## Categories covered

- |    |                                     |    |                                    |
|----|-------------------------------------|----|------------------------------------|
| 1  | Nervous and sensory system          | 2  | Motor control                      |
| 3  | Musculoskeletal system              | 4  | Respiratory and circulatory system |
| 5  | Hematology and immunology           | 6  | Humor and endocrinology            |
| 7  | Metabolism                          | 8  | Nutrition and digestion            |
| 9  | Morphology and body composition     | 10 | Aging and gender difference        |
| 11 | Environmental physiology            | 12 | Exercise training                  |
| 13 | Lifestyle and health                | 14 | Biomechanics                       |
| 15 | Genes and gene regulation           | 16 | Sports medicine and diseases       |
| 17 | Rehabilitation and exercise therapy | 18 | Drug and doping                    |
| 19 | Sports psychology                   | 20 | Miscellaneous                      |

## ご 案 内

### 〈各種手続方法〉

	連絡先	住 所	電話番号	備 考
正会員の入退会 及び住所所属変更	一般社団法人 学会支援機構 一般社団法人日本体力医学会事務局	〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階 E-mail: jspfsm@asas-mail.jp	TEL 03(5981)6015 FAX 03(5981)6012	入会は評議員1名の推薦が必要 入会はHPより登録 <a href="https://plaza.umin.ac.jp/jspfsm/information/index.htm">https://plaza.umin.ac.jp/jspfsm/information/index.htm</a>
正会員の会費納入	〃	〃	〃	年会費 10,000円 (口座振替の登録または 所定振込用紙を使用)
購読会員の入退会 及び購読料納入	〃	〃	〃	年間 13,200円
学会誌のバック ナンバーの販売	〃	〃	〃	
賛助会員に関する業務	〃	〃	〃	
和文誌の投稿は <a href="https://www.editorialmanager.com/jspfsm/">https://www.editorialmanager.com/jspfsm/</a>	「体力科学」編集事務局	〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 鶴岡印刷株式会社内 E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp	0235(22)3120 TEL, FAX 共通	和文誌「体力科学」 投稿規定はHP参照のこと
英文誌の投稿は <a href="https://www.editorialmanager.com/jpfsm/">https://www.editorialmanager.com/jpfsm/</a>	「JPFSM」編集事務局	〃	〃	英文誌「JPFSM」 投稿規定はHP参照のこと

### 〈地方会事務局〉

#### 【北海道地方会】

地方会代表：山口 太一 事務局長：柴田 啓介  
事務局所在地（〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地  
酪農学園大学 農食環境学群 食と健康学類 食・健康スポーツ科学研究室）  
TEL&FAX：011-388-4914  
E-mail：jspfsm-hkd@rakuno.ac.jp

#### 【東北地方会】

地方会代表：永富 良一 事務局長：門間 陽樹  
事務局所在地（〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号  
東北大学大学院医学系研究科運動学分野）  
TEL&FAX：022-717-8166  
E-mail：h-momma@med.tohoku.ac.jp

#### 【北陸地方会】

地方会代表：岡本 啓 事務局長：山田 孝禎  
事務局所在地（〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学  
学術研究院 教育・人文社会系部門 教員養成領域）  
TEL：0776-27-8709  
E-mail：yamadat@u-fukui.ac.jp

#### 【関東地方会】

地方会代表：竹森 重 事務局長：山内 秀樹  
事務局所在地（〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8 東京慈恵会医科大学・分子生理学講座・体力医学研究室（担当 田口美香））  
TEL：03-5400-1200（内線2216），FAX：03-3431-3827  
E-mail：mol-phys@jikei.ac.jp

#### 【東海地方会】

地方会代表：石田 浩司 事務局長：水野 貴正  
事務局所在地（〒464-8601 愛知県名古屋市中千種区不老町E5-2(130) 名古屋大学総合保健体育科学センター）  
TEL：052-789-3959，FAX：052-789-3957  
E-mail：mizuno@htc.nagoya-u.ac.jp

#### 【近畿地方会】

地方会代表：吉川 貴仁 事務局長：吉川 貴仁  
※代表と事務局長は兼務。

事務局所在地（〒545-8585 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-4-3  
大阪公立大学大学院医学研究科運動生体医学内）  
TEL：06-6645-3790，FAX：06-6646-6067  
E-mail：gr-med-sports@omu.ac.jp

#### 【中国・四国地方会】

地方会代表：小野寺 昇 事務局長：高原 皓全  
事務局所在地（〒701-0193 岡山県倉敷市松島288 川崎医療福祉大学）  
TEL：086-462-1111，FAX：086-464-1109  
E-mail：jspfsm.chu4@gmail.com

#### 【北九州地方会】

地方会代表・事務局長：飛奈 卓郎  
事務局所在地（〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1  
長崎県立大学 看護栄養学部 栄養健康学科 運動生理学研究室）  
TEL：095-815-5200  
E-mail：tobitaku@sun.ac.jp

#### 【南九州地方会】

地方会代表：松本 直幸 事務局長：坂本 将基  
事務局所在地（〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40番1号 熊本大学大学院教育学研究科保健体育科教育講座）  
TEL：096-342-2796  
E-mail：sakamoto@educ.kumamoto-u.ac.jp

#### 〈FIMS(国際スポーツ医学会)事務局〉

FÉDÉRATION INTERNATIONALE DE MÉDECINE  
SPORTIVE (F.I.M.S.)

Secretary General of FIMS:  
Prof. Lyle J Micheli, MD, USA  
Office: Children's Hospital- 2nd floor, Division of Sports  
Medicine, 319 Longwood Avenue,  
Boston, MA 02115, UNITED STATES OF AMERICA  
Tel: +617 355 6970 Fax: +617 730 0694  
Email: michelilyle@aol.com  
Alternate Email: stacey.cobban@childrens.harvard.edu

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2024年5月）議事録

日 時：2024年5月20日(月) 午後5時00分～7時05分

場 所：TKP東京駅カンファレンスセンター  
カンファレンスルーム8D

およびZoomによるハイブリッド形式

議 長：永富良一理事長

出席者（現地）：

永富良一理事長，内藤久士副理事長，  
中田由夫常務理事，井上 茂，岡浩一郎，下光輝一，  
須永美歌子，竹森 重，町田修一，宮川俊平各理事，  
石井好二郎監事，山津幸司第78回大会実行委員長

出席者（オンライン）：

小熊祐子副理事長，赤間高雄，甲斐裕子，勝川史憲，  
後藤勝正，田畑 泉，田村好史，内藤義彦，中里浩一，  
成田和穂，浜岡隆文，檜垣靖樹，宮下政司，  
宮地元彦各理事，家光素行監事，  
松山郁夫第78回大会長，  
中村雅俊第78回大会事務局長，  
赤澤暢彦特別大会副事務局長  
（特別大会収支報告の議事中のみ出席）

欠席者：前田清司理事，清田 寛，小林康孝各監事

永富良一理事長，石井好二郎監事より，議事に先立ち，  
当学会評議員・学術委員会委員の綾部誠也氏が急病のため，  
2024年5月10日に逝去したことが報告された。弔いの  
意を込めて黙祷が捧げられた。

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までには訂正等がなかった場合には，自  
動的に承認されることにした。

#### 2. 令和6年度決算見込みについて（宮川財務委員長）

資料に基づき，令和6年度決算見込みについて報告  
された。収入44,863,011円は見込みであるが，予定通  
りの収入となれば，令和6年度決算見込の収支差額は，  
3,111,146円の赤字となる旨，説明された。今後の大会  
開催費用に関連する大会開催補助金，本部シンポジウ  
ム補助金は必ずしも固定せず，必要に応じて計上を検  
討することについて説明された。

#### 3. 令和7年度予算案について（宮川財務委員長）

資料に基づき，令和7年度予算案について報告され  
た。令和7年度予算案の収支差額は，3,849,000円の赤  
字予定であるが，これは正会員会費の減少と，本部プ  
ログラム企画補助金の増額などを反映したためである  
ことが説明され，承認された。内藤副理事長より，大  
会への参加を促進して参加費，学会費の収入増加につ  
なげるため，佐賀大会会場に託児所を設置することが  
提案され，承認された。

#### 4. 令和7年度事業計画案について（永富理事長）

資料に基づき，令和7年度事業計画案についての報  
告があった。須永理事より，資料中でプログラム委員  
会の事業計画案が学術委員会内に記載されている誤り

が指摘され，訂正された。審議の結果，承認され，9  
月の社員総会に諮ることになった。

#### 5. 第37回日本体力医学会賞選考委員会審議結果につ いて（宮地学会賞選考委員長）

資料に基づき，4月4日にZoomによるWeb会議で  
の審議にて開催された学会賞選考委員会において，学  
会賞（体力科学），学会賞（JPFMSM）および奨励賞の候  
補の3件を選考したことが報告された。井上理事より，  
論文ではなく個人に対して表彰を行なっている他学会  
の奨励賞の例など，学会賞の価値を高めるための今後  
の検討について意見が述べられた。審議の結果，3件  
の学会賞候補について承認された。

##### 【学会賞（体力科学）】

72巻-3号-3（体力科学）

大垣 亮，小倉彩音，金 賢宰，村上大記，嶋崎達也，  
竹村雅裕

「男子大学生ラグビー選手の外傷・障害特性」

##### 【学会賞（JPFMSM）】

12巻-1号-2（JPFMSM）

Kaori Yagi, Tao Chen, Sanmei Chen, Masataka  
Suwa, Takayuki Imoto, Akira Kida, Takashi Na-  
gami, Mitsunori Iwase, Takashi Yokochi and Shuzo  
Kumagai

「Associations of sedentary time, physical activity,  
and cardiorespiratory fitness with metabolic syn-  
drome in Japanese industrial workers: The Toyota  
Motor Corporation Physical Activity and Fitness  
Study」

##### 【奨励賞】

72巻-6号-1（体力科学）

西村里奈，三浦 哉，羅 成圭，田村靖明，中村みづ  
き，久我浩正，出口純次

「一過性の自転車こぎ運動と下肢への電気刺激の併  
用が動脈ステイフネスに及ぼす影響」

また，副賞（60万円）については，学会賞（体力科学），  
学会賞（JPFMSM），奨励賞に各20万円とすることが報  
告され，承認された。

#### 6. 学会誌特集号の掲載料に関わる追加予算について （後藤編集委員長）

資料に基づき，すでに進行中の特集号について追加  
予算の申請がなされ，審議の結果，承認された。

#### 7. 本部企画プログラム予算について （須永プログラム委員長）

資料に基づき，佐賀大会での本部企画プログラムの  
企画内容と予算案，滋賀大会での予算案について説明  
された。佐賀大会での予算案は来年度予算原案の一環  
として承認された。

#### 8. 第80回日本体力医学会学会大会会長候補者について （井上総務委員長）

資料に基づき，弘前大学大学院医学研究科リハビリ

ーション医学講座教授の津田英一氏が第80回日本体力医学会大(青森)の大会長に推薦され、審議の結果、承認された。

#### 9. 「健康科学アドバイザー」商標更新について (井上総務委員長)

資料に基づき、井上総務委員長より、学会が運営する資格等の商標登録は必須ではないが、商標を放棄すると再度の取得は努力を要することが説明された。健康科学アドバイザーの継続性を踏まえ、10年間の商標更新が提案され、審議の結果、承認された。

#### 10. 部会制、若手の会の立ち上げについて (井上総務委員長)

資料に基づき、部会制と若手の会の趣旨と運営に関する手続きについて説明され、学会員への周知について提案がなされた。説明を受けて、石井監事より、部会制に関わる専門資格の捉え方をめぐって食い違いが生じる可能性について意見が述べられた。井上総務委員長より、部会制の活動における排他性を避け、開かれたものになるよう運営すること、学会として指導することが説明された。内藤副理事長より、部会の学会組織図上の位置付けについて質問があり、継続して検討することとなった。審議の結果、部会制、若手の会の立ち上げについて承認された。

#### 11. 定款の改定、代議員制について (井上総務委員長)

井上総務委員長より、定款改定に伴う会員のメリットとデメリット、他学会の定款や規程、社員の構成に関する資料が提示され、継続して審議することとなった。

#### 12. 定款、規約等の公開について (井上総務委員長)

資料に基づき、学会規程の公開の方式と手順について提案された。規程名は原則としてすべて公開として、規程の内容については、各種委員会で関連する規程の内容を検討した後、順次公開を進めることが提案され、審議の結果、承認された。

#### 13. 会員情報の把握について (井上総務委員長)

資料に基づき、会員情報をより詳細に把握するための調査と分析を行うことが提案された。石井監事より、会員情報の適切な利用について質問があった。井上総務委員長より、今回の調査と分析は学会の運営のための利用であり、会員情報の利用として問題がない旨回答された。審議の結果、承認された。

#### 14. その他

##### 1) 理事会会議資料の配布について (永富理事長)

永富理事長より、資源削減および省力化の観点から、今後の理事会会議資料の共有はメール等で行うこととし、印刷資料の配布は行わないことが提案され、認められた。

##### 2) 各委員会の分掌一覧 (井上総務委員長)

井上総務委員長より、各委員会の分掌一覧の資料

が提示された。

#### 【報告事項】

##### 1. 各種委員会報告

###### 1) 編集委員会 (後藤編集委員長)

(1) 「JPFISM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況  
<投稿状況>(2023年9月1日～2024年4月30日)

「JPFISM」誌：新規投稿34編

(内海外4編・特集号3編含む)

※前年同期間：新規投稿27編 (内海外7編)

4/30現在、審査中14編

(採択12編、不採択7編、掲載取り下げ1編)

「体力科学」誌：新規投稿23編

※前年同期間：新規投稿19編

4/30現在、審査中4編

(採択8編、不採択9編、投稿取り下げ2編)

<発行予定>

「JPFISM」誌

○Vol. 13, No. 3 (2024年5月25日発行)

掲載論文3編

○Vol. 13, No. 4 (2024年7月25日発行)

掲載論文5編 (特集号)

○Vol. 13, No. 5 (2024年9月25日発行)

掲載論文3編

○Vol. 14, No. 1 (2025年1月25日発行)

掲載論文3編

○Vol. 14, No. 2 (2025年3月25日発行)

掲載論文2編

「体力科学」誌

○Vol. 73, No. 3 (2024年6月1日発行)

掲載論文3編

○Vol. 73, No. 4 (2024年8月1日発行)

掲載論文3編

(2) 学会HPのhttps化を行っており、2024年9月までは旧サイトと併用となる。

###### 2) 将来構想検討委員会 (永富将来構想検討委員長)

若手会員との定期的な意見交換を行う場の準備を進めている。

##### 2. 日本体力医学会特別大会—2023東京シンポジウム—の収支報告 (赤澤特別大会副事務局長)

前田事務局長の欠席により、赤澤副事務局長より、資料に基づき、日本体力医学会特別大会—2023東京シンポジウム—の収支報告が行われ、税理士による監査が終了したことが報告された。

##### 3. 第78回(佐賀)大会の進捗状況

###### (山津第78回大会実行委員長)

山津実行委員長より、資料に基づき、大会の準備状況が報告された。

会 期：2024年9月2日(月)～4日(水)

会 場：佐賀大学本庄キャンパス

〒840-0027 佐賀県佐賀市本庄町1

大会長：松山郁夫 (佐賀大学 名誉教授)

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2024年8月）議事録

日時：2024年8月20日(火) 午後6時00分～8時00分

場所：ZoomによるWeb会議

議長：永富良一理事長

出席者：永富良一理事長、

内藤久士、小熊祐子各副理事長、

中田由夫常務理事、岡浩一郎、甲斐裕子、

後藤勝正、下光輝一、須永美歌子、竹森 重、

田畑 泉、田村好史、内藤義彦、中里浩一、

成田和穂、浜岡隆文、檜垣靖樹、前田清司、

町田修一、宮川俊平、宮下政司、宮地元彦各理事、

家光素行、石井好二郎各監事、

松山郁夫第78回大会長、

山津幸司第78回大会実行委員長、

中村雅俊第78回大会事務局長

門間陽樹総務副委員長、山北満哉総務委員

（総務委員会の議事中のみ出席）

欠席者：赤間高雄、井上 茂、勝川史憲各理事、

清田 寛、小林康孝各監事

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

#### 2. 令和6年度庶務報告に関する件について

（中田常務理事）

井上総務委員長が欠席のため、中田常務理事より資料に基づき、令和6年度庶務報告がなされた。

2024年7月31日現在、会員総数は3,305名（昨年度から126名減少）、評議員は491名（内医師62名、非医師429名）、賛助会員5団体、新入会員215名（昨年度から168名増加）、退会者341名（内自然退会160名）であることが報告された。また、2年以上会費未納者リストが提示され、2年以上の会費未納者については、自然退会とすることが承認された。自然退会者リストに載っている会員には、あらかじめ会費納入の催促を行うこととした。

#### 3. 令和6年度会計報告に関する件について

（宮川財務委員長）

資料に基づき、令和6年度決算について、報告された。

収入の部：会費収入は33,595,600円（内正会員30,800,000円）であり、収入合計は49,001,609円となった。

支出の部：支出合計額は45,497,678円となった。当年度収支差額は3,503,931円の黒字決算となった。

#### 4. 令和6年度事業報告に関する件について

（永富理事長）

資料に基づき、令和6年度事業の概要が報告された。

##### 1) 総務委員会（門間総務副委員長、山北総務委員）

1. 第80回大会（青森）大会長の推薦：津田英一先生（弘前大学教授）

2. 学会規定の公開に関する検討

3. 定款の改訂および評議員制度に関する検討

4. 部会制・若手の会の設立

5. 会員情報の収集に関する検討

6. 会員の状況の分析

##### 2) 編集委員会（後藤編集委員長）

1. 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFISM)」

Vol. 12のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 13のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 72のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 73のNo. 1, No. 2, No. 3

①電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

②JPFISM掲載論文リストのメール配信

##### 2. 「JPFISM」投稿規定を改訂（1/31）

[改訂箇所]

(1) 「Aims and Scope」から「international」の語句を削除

(2) 「Availability of data and materials」にJ-STAGE Data (see below) or otherを追記し、関連項目としてJ-STAGE Dataを新設

(3) 「Advertising Policy」を追加

##### 3. 日本体力医学会ホームページ「新URL」への切り替えのお知らせ（2/1）

##### 4. 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）2023年度ジャーナルコンサルティング

「ジャーナルインパクトファクター（JIF）取得要件への準拠」2023年6月～2024年3月

・中間報告Webミーティング（12/20）、最終報告書の提出（3/8）

##### 5. 特集号について（5/20理事会にて）

・特集号の掲載料の著者負担を免除することが承認された。

・次年度予算でJPFISM、体力科学の特集号の掲載（各1回）も学会予算として認められた。（次年度予算に関しては、9月の大会での社員総会で正式決定）

##### 3) 学術委員会（町田学術委員長）

佐賀大会において4つのセミナーを企画・運営

佐賀大会において一般市民を対象とした公開講座を企画

##### (1) スポーツ医学研修会委員会

（中里スポーツ医学研修会委員長）

スポーツ医学研修及び日本体力医学会健康科学アドバイザー<sup>®</sup>称号の在り方について検討を行った。

スポーツ医学研修の在り方については継続審議中である一方、本年度はスポーツ医学研修の代替として佐賀大会における講演によるスポーツ医学研修会を開催予定。（講演者：岡本孝信先生（日

体大))

日本体力医学会健康科学アドバイザー<sup>®</sup>称号継  
続者として9名(うち終身1名)を継続とした。

(2) 学会賞選考委員会(宮地学会賞選考委員長)

第37回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。

4) 財務委員会(宮川財務委員長)

令和6年度の収入から、各委員会の活動の適正な  
運営が行なえるよう活動費を配分した。

令和7年度については令和6年度の活動を踏まえ  
た予算案の作成を行なった。

5) 利益相反委員会(中田常務理事)

勝利利益相反委員長が欠席のため、中田常務理事  
より資料が供覧された。

1. 日本医学会連合研究倫理委員会、利益相反委員  
会他の主催による研究倫理教育研修会(2024.5.7)  
に、日本体力医学会として出席。「日本医学会連合・  
日本医学会利益相反委員会の経緯と組織COIの在  
り方」を聴講し、日本医学会および所属学会の組  
織COIへの取り組み状況について情報を得た。

2. 組織COIに規定を設けている学会が現状ではま  
だ少ない状況が理解された。引き続き、他学会の  
組織COIの取り組みについて情報収集し、日本体  
力医学会での取り組み方針を検討する。

6) 評議員選考委員会(浜岡評議員選考委員長)

1. 令和5年度評議員候補者5名を選定し、理事会、  
評議員会兼社員総会にて承認を受けた。(男性:  
5名, 女性: 0名)

2. 令和6年度評議員候補者として15件の申請が  
あり、Web会議にて慎重に審査したところ全員  
「適格」と判定した。(男性: 12名, 女性: 3名)

7) 渉外委員会(宮下渉外委員長)

#### 【国際学術事業】

1. 「体力科学」での渉外委員会所掌の2022年度日  
本体力医学会国際学術交流奨励賞受賞者の学会参  
加報告

①2022年4月~2023年3月31日までの国内外で  
開催された国際学会(5カ国以上が参加する学  
会)での発表を評価

②筆頭演者としてオリジナルな演題を発表してい  
る若手を中心とする学会会員

③最優秀賞1名, 優秀賞3名(口頭30万円, 20万円,  
ポスター15万円, 10万円)

④受賞者

1) 口頭最優秀賞 田淵絢香・電気通信大学  
ACSM 2022 San Diego USA: Pharmacologi-  
cal Inhibition of Ryanodine Receptors Im-  
mediately After Eccentric Contractions Ex-  
ercise Effectively Reduces Exercise-induced  
Muscle Damage In Rat Skeletal Muscle

2) 口頭優秀賞 土橋康平・北海道教育大学  
19th International Conference on Environ-  
mental Ergonomics Niagara Falls Canada:  
Hypocapnic hyperventilation and hypoxia  
additively increase anaerobic metabolism  
during supramaximal exercise

3) ポスター最優秀賞 塩谷彦人・早稲田大学

スポーツ科学学術院

40th Conference of the International Society  
of Biomechanics in Sports Liverpool UK: As-  
sociations between exercise-induced flatten-  
ing of foot arch and fatigue of extrinsic and  
intrinsic foot muscles

4) ポスター優秀賞 竹田怜央・電気通信大学  
18th International Biochemistry of Exercise  
Conference, Toronto, Canada: Loss of CMAH  
improved cellular senescence in adipose tis-  
sues and insulin sensitivity in aged mice

5) ポスター優秀賞 曾谷祐太・電気通信大学  
18th International Biochemistry of Exercise  
Conference, Toronto, Canada: Mathematical  
modeling of skeletal muscle protein synthe-  
sis pathway activated by resistance exercise

6) ポスター優秀賞 藤本知臣・新潟医療福祉  
大学健康スポーツ学科  
19th International Conference on Environ-  
mental Ergonomics, Niagara Falls Canada:  
TRPM8 contributes to cutaneous vasocon-  
striction during local, but not whole-body  
cooling in humans

2. 韓国運動生理学会2024 KSEP交流シンポジウ  
ム シンポジスト派遣

①Joint Symposium between JSPFSM and KSEP

②2024年4月11日(木)~13日(土)

場所: Jeju National University (韓国)

③座長: 秋本崇之(早稲田大学)

渉外委員会委員による推薦を経て、以下の2名の  
日本体力医学会会員を交流シンポジウムに派遣

④演者1: 渡邊航平(中京大学)

Effects of exercise and nutritional supplementa-  
tion on motor unit activation properties in  
older adults

⑤演者2: 相澤勝治(専修大学)

Mechanism of exercise-induced local androgen  
production in skeletal muscle

⑥今後のKSEPとJSPFSMの交流に関する意見交換  
本学会大会における交流シンポジウム開催検討

3. 2024年日本体力医学会ECSSとの交流セッショ  
ンの佐賀大会での発表のための選考

①2024年4月26日(金)

②渉外委員会委員による推薦を経て、以下の2名  
の日本体力医学会会員を佐賀大会でのECSS側  
の派遣者との交流に選出

西川太智(中京大学)

前大純朗(立命館大学)

4. 2024年度日本体力医学会若手研究奨励賞(国際  
学術交流)の佐賀大会での発表のための選考

①2024年4月30日(火)

②17名より応募があり、渉外委員会委員による審  
査の結果、以下の7名を佐賀大会での最終審査  
のために選出

渡邊大輝(大阪体育大学)

古市泰郎(東京都立大学)

梅原潤（関西医科大学）  
 松村哲平（立命館大学）  
 永田康喜（国立国際医療研究センター）  
 川島将人（川崎医療福祉大学）  
 平賀大一（筑波大学）

#### 【国内学術交流事業】

##### 1. 日本医学会連合TEAM事業「フレイル・ロコモ対策会議」との連携

- ①2023年8月17日(木)
- ②書籍「フレイル・ロコモのグランドデザイン」の出版（同志社大学の石井好二郎先生に依頼）

##### 2. 日本生理学会との合同シンポジウム

- ①第101回日本生理学会合同シンポジウム企画
- ②2024(令和6)年3月28日(木)～30日(土) 北九州国際会議場・西日本総合展示場（AIM）
- ③IS08e 他学会連携委員会企画  
身体不活動研究から切り開く健康科学の新展開～骨格筋研究における最新知見～  
共催：日本体力医学会
- ④オーガナイザー：吉原利典（順天堂大学）  
富賀裕貴（福岡大学）
- ⑤講演者：吉原利典（順天堂大学）  
富賀裕貴（佐賀大学）  
藤野英己（神戸大学）  
寛佐織（順天堂大学）

##### 8) 倫理委員会（成田倫理委員長）

- 1. 佐賀大会の一般演題登録者への倫理的手続きについてのアンケート調査実施

##### 9) 広報委員会（田畑広報委員長）

- 1. 学会ホームページの管理・運営

##### 10) 男女共同参画推進委員会

- （甲斐男女共同参画推進委員長）
- 1. 男女共同参画学協会連絡会への参加
- 2. 佐賀大会における公募シンポジウムにおける男女共同参画に関する提言
- 3. 佐賀大会における企画の検討

##### 11) 全国地方会実行委員会（岡全国地方会実行委員長）

各地方会における課題の把握

##### 12) 将来構想検討委員会（永富将来構想検討委員長）

- 1. 各種委員会委員長および委員長推薦者で構成することを決定
- 2. 幅広く会員の要望を聴くオンラインのウェビナーを計画中
- 3. 執行部体制を理事長・副理事長・常務理事・総務委員長・学術委員長・編集委員長・財務委員長で構成し、随時学会運営に関することを検討することとした。

##### 13) プログラム委員会（須永プログラム委員長）

- 1. 学会大会での本部企画プログラムの立案・運営

#### 5. 令和7年度会計報告（予算）について

##### （宮川財務委員長）

資料に基づき、令和7年度の予算案について報告された。

収入の部：現在の会員数および会費納入率実績（90%）に基づいて試算し、正会員会費は

28,827,000円、会費収入全体では31,433,500円として計上した。2024年は大会開催方式が例年通りに戻ったことなどにより、収入額合計は69,210,000円として計上した。

支出の部：大会開催方式が例年通りに戻ったこと、大会本部企画の充実を図ったこと、スポーツ医学研修会が昨年同様中止となったことなどにより、支出合計予算額が73,177,000円となった。当年度収支差額は△3,967,000円となる見込みである。

#### 6. 評議員推薦に関する件（浜岡評議員選考委員長）

資料に基づき、評議員選考委員会において候補者15名に対しての審査を行い、全員が評議員選考条件を満たした旨の報告があり、令和6年度の評議員候補者として15名（内、女性3名）を評議員に推薦することが承認された。

#### 7. ミズノスポーツ研究助成の推薦について（永富理事長）

資料に基づき、ミズノスポーツ振興財団のスポーツロジック研究助成への学会員の推薦の手続きについて提案され、学会員に周知して9月中旬に申請希望者を募り、応募状況により必要に応じて10月中旬に選考を行うことが承認された。また、今後の各種選考については、学会賞選考委員会を中心として体制を整備して実施することが提案され、承認された。

#### 【報告事項】

##### 1. 日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について（中里スポーツ医学研修会委員長）

資料に基づき、日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について報告がなされた。日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者9名の氏名リストが掲示され、承認された（内、終身称号者は1名）。

##### 2. 各種委員会報告

###### 1) 編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき、「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

###### 1. 「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況<投稿状況>(2023年9月1日～2024年7月31日)

「JPFMSM」誌：新規投稿50編

（内海外7編、特集号2編）

※前年同期間：新規投稿34編（内海外7編）

7/31現在、審査中9編（採択20編、不採択18編、取下げ2編、採択後取下げ1編）

※受付不可7編（投稿規定に沿わない等で原稿返却、海外7編）

「体力科学」誌：新規投稿33編

※前年同期間：新規投稿23編

7/31現在、審査中5編（採択10編、不採択15編、取下げ3編）

<発行予定>

「JPFMSM」誌

○Vol. 13, No. 5（2024年9月25日発行）

Short Review 1編、Regular Article 2編

- Vol. 14, No. 1 (2025年1月25日発行)  
Regular Article 2編, Short Communication 1編
  - Vol. 14, No. 2 (2025年3月25日発行)  
Regular Article 3編
  - Vol. 14, No. 3 (2025年5月25日発行)  
Regular Article 2編, Short Communication 1編
  - Vol. 14, No. 4 (2025年7月25日発行)  
Regular Article 2編, Short Communication 1編
  - Vol. 14, No. 5 (2025年9月25日発行)  
Short Communication 1編 + (今後の受理論文)  
「体力科学」誌
  - Vol. 73, No. 5 (2024年10月1日発行)  
原著 2編 + (今後の受理論文)
2. 日本体力医学会ホームページ「旧 URL」閉鎖について  
9月の日本体力医学会大会終了後 UMIN への手続き完了次第、旧 URL を閉鎖します。  
(2/1に日本体力医学会会員に学会事務局よりメール配信済)  
旧 URL : <http://www.jspfsm.umin.ne.jp>
3. 第78回(佐賀)大会の進捗状況  
(山津第78回大会実行委員長)  
山津実行委員長より、第78回(佐賀)大会の進捗状況が報告された。
4. 第79回(滋賀)大会の進捗状況(田畑第79回大会長)  
田畑大会長より、第79回(滋賀)大会の準備状況について報告された。
5. 佐賀大会一般演題登録時の倫理アンケート結果について(成田倫理委員長)  
資料に基づき、佐賀大会での倫理アンケート実施の経緯と集計結果について報告された。大会演題登録時の倫理承認の義務化を倫理委員会で検討予定であることが報告された。
6. 日本医学会連合 TEAM 事業「脳心血管病予防に関するリスク管理チャートの改訂と発行後の周知普及」(日本動脈硬化学会)について(小熊副理事長)  
資料に基づき、日本動脈硬化学会からの協力依頼と日本体力医学会の回答内容(案)について報告された。
7. 日本医学会分科会活動報告について(小熊副理事長)  
資料に基づき、日本医学会へ提出した分科会活動報告について説明された。
8. その他
- 1) 学会関連企業との関係構築について(永富理事長)  
日本体力医学会の運営に貢献されている賛助会員や大会の協賛企業への謝意を示す機会を設けることが提案された。
  - 2) アジアキネシオロジー学会への協力について(永富理事長)  
アジアキネシオロジー学会より依頼があり、理事会および各種委員会で連携しながら協力する予定であることが報告された。

## 2024年度第2回日本体力医学会編集委員会議事録

日時：2024年9月1日(日) 14:30~16:00

場所：佐賀大学教養教育1号館1F 運営機構会議室

出席者：後藤勝正（委員長）

和氣秀文，前田清司，門間陽樹（各副委員長），  
秋本崇之，宇高潤，大槻毅，竹森重，  
十枝内厚次，中里浩一，中田由夫，沼尾成晴，  
福典之，藤田聡，松尾知明，宮下政司，  
向井直樹，山内秀樹，山津幸司，  
吉川貴仁（各委員）

（編集事務局：佐藤信之，本間佳子，田中加奈子）

欠席者：赤間高雄，大藏倫博，大島秀武，加藤晴康，

川中健太郎，木田哲夫，小林哲士，  
小宮山伴与志，小山勝弘，小山照幸，重松良祐，  
鈴木宏哉，富田秀仁，中澤公孝，成田和穂，  
浜岡隆文，藤井宣晴，麓正樹，増木静江，  
柳谷登志雄，渡辺賢（各委員）（委任状21通）

### 【審議事項および確認事項】

#### 1. 2024年度第1回編集委員会の議事録

上記の件につき確認された。

#### 2. 特集号の企画について

後藤編集委員長より，今後の特集号の企画について，  
体力科学・JPFISMともに年1回の掲載を目処に，編集  
委員の中から担当をお願いしたいとの提案があった。

体力科学の特集号については，松尾先生より企画の  
提案があり，現在，執筆者3名で提案通り進んでいる  
との説明がなされた。

また，特集号の流れについて，執筆者は本学会の会  
員・非会員を問わないこと，掲載料の著者負担は免除  
になったこと，査読プロセスについては，企画があっ  
た編集委員および1名以上の査読者による論文審査の  
過程を経て，担当編集委員および編集委員長が最終的  
な判断をするとの説明がなされた。

#### 3. PDFファイルのセキュリティ設定について (CCライセンス表示について)

これまでJ-STAGEの指針に従ってセキュリティ設  
定をしてきたが，PDF作成指針改定に伴い，体力科学  
73-6，JPFISM13-6よりPDFのパスワード設定なしで  
公開することが承認された。

これに伴い，冊子体の各論文とPDFにもCCライセ  
ンスを表示することが承認された。

#### 4. 論文審査について

(1) 不採択になった論文を再投稿する場合は，カバ  
ーレターに一文を明記することとした。査読者への回  
答については，担当編集委員から要求があった際  
には付けてもらうこととする。

(2) 審査過程の論文種別の変更については，担当編  
集委員の判断に委ねることとした。

(3) 審査報告の際，査読者のコメントに採否判定が  
わかるコメントが入っている場合は，担当編集委員  
の判断で外すこととした。

### 【報告事項】

#### 5. 編集委員会 令和6年度活動報告

後藤編集委員長より，令和6年度の編集委員会の活  
動について報告された。JPFISM掲載論文リストのメ  
ール配信を行っているが，体力科学の掲載論文につ  
いてもメール配信をしてはどうかとの意見があり，検討  
することとなった。

#### 6. JPFISM誌・体力科学誌の投稿状況と現状報告 (2023年8月1日~2024年7月31日現在)

後藤編集委員長より，JPFISM誌・体力科学誌の投  
稿・掲載状況，審査期間，J-STAGEのアクセス統計  
について報告された。新規投稿についてはJPFISM誌：  
57編（特集号を含む）（前年比16編増），体力科学誌：  
33編（前年比10編増）であった。上位50ヶ国のアク  
セス統計に関しては，2023.8.1~2024.7.31までの12  
ヵ月間で，JPFISM前年比66,373件の増，体力科学前年比  
117,604件の増となっていることが報告された。

#### 7. その他

後藤編集委員長より，体力科学誌については今後の  
論文掲載が厳しい状況であること，定期的な刊行が大  
事であることが説明された。不採択15編については，  
内容・領域・タイトルが理由に挙げられた。

最後に，委員の先生方には特集号の企画の提案また  
は，1~2年に1回の投稿に協力してほしいとの呼び  
かけがあった。

## 第39回日本体力医学会近畿地方会 一般演題募集のご案内

- 日 時：令和7年（2025年）3月2日（日）
- 大会長：笠次良爾（奈良教育大学）
- 会 場：奈良教育大学（奈良市高畑町）  
<https://www.nara-edu.ac.jp/access/>
- アクセス：
  - ・JR「奈良」駅よりバス  
東口2番のりばから市内循環・外回りにて約15分、「高畑町」下車徒歩1分
  - ・近鉄「奈良」駅よりバス  
1番のりばから市内循環・外回り、中循環・外回りにて約10分、「高畑町」下車徒歩1分
- 開催形式：現地開催のみ
- シンポジウム：
 

「持久走パフォーマンスの向上について考える」

シンポジスト：

  - [運動器] 小田俊明先生（兵庫教育大学），  
大沼勇人先生（神戸女子大学），  
丹治史弥先生（東海大学）
  - [栄 養] 東田一彦先生（滋賀県立大学），  
岩山海渡先生（天理大学）
- 一般演題募集：体力・スポーツ医科学に関する演題  
すべての演題について、スライドによる口頭のshort presentation（約3分）と同内容のポスター発表（自由討論）を行っていただく予定です。  
抄録原稿は、「抄録原稿用フォーマット」をダウンロードの上、①演題、②発表者（筆頭発表者に○印）、③所属、④本文（目的、方法、結果、結論の順で）の①～④を全

てあわせて900字以内で記載して下さい。図表は認めません。

応募は、下記送り先のメールアドレスまで「エントリーシート」と一緒に添付してお送りください。

※共同発表者を含め、会員・非会員に限らず、どなたでも発表できます。

※筆頭発表者が会員の方は、学会終了後、学会の報告として学会誌『体力科学』に抄録を掲載いたします。

※筆頭発表者が非会員で抄録掲載を希望される場合には、掲載料3,000円を、一般演題締め切り期日までに下記口座までお振込みください。

■一般演題締め切り期日：2025年1月9日（木）

■学会誌掲載料振込先（筆頭発表者が非会員で、学会誌に抄録掲載希望の場合のみ）

大阪シティ信用金庫

店名：公立大病院出張所

口座：普通 8050099

日本体力医学会近畿地方会事務局 代表 吉川貴仁

■応募書類

・「抄録原稿」

・「エントリーシート」

■送り先及び問い合わせ先：近畿地方会事務局

大阪公立大学大学院医学研究科 運動生体医学

吉川、小川

E-mail: gr-med-sports@omu.ac.jp

FAX: 06-6646-6067

# 編 集 後 記

体力科学第73巻6号をお届けします。今号には原著論文が1編、資料論文が1編、学会からのお知らせが掲載されています。原著論文は等々力からの「地域在住高齢者における大腿骨内側上顆間距離を用いた内反膝スクリーニングテストの有用性の検討」、資料論文は笠井らの「ビデオゲームの実施がスプリントパフォーマンスに与える影響：レーシングゲームを用いた検討」に関する報告です。いずれの論文も投稿から採択まで2ヶ月となっています。体力科学は重要な知見をより早く世に出すことができていると感じております。

2024年もあっという間に年の瀬で、1年間を振り返る季節がやってきました。今年のトピックスは沢山ありますが、第33回パリ夏季オリンピック、第17回夏季パラリンピックの開催が最初に挙げられます。日本人選手の顕著な活躍がみられました。まず、陸上競技の女子やり投において北口榛花選手がフィールド競技種目にてオリンピックで金メダルを日本人として初めて獲得しました。次に、体操競技の男子種目別で、岡慎之助選手が鉄棒で金メダル、平行棒で銅メダルを獲得し、同一大会でのメダル4個の獲得は1984年ロサンゼルス五輪での具志堅幸司以来40年ぶりとなりました。最後に、柔道男子66キロ級、阿部一二三選手は、妹の詩が敗れ、史上初の兄妹で

の2連覇こそありませんでしたが、前回・東京大会に続く金メダルで2連覇を果たしました。パラリンピックでは、18歳で車いすテニスに初出場した小田凱人選手がパラリンピック史上最年少で金メダルを獲得しました。パリでのオリンピック、パラリンピックは、すばらしい感動を残してくれました。

筆者が今年のトピックとして挙げたいのは、第78回日本体力医学会大会（佐賀）で実行委員長を務めたことです。この歴史ある全国大会にて実行委員長を経験されたことのある先生は少ないと存じます。1300人超の参加者、600超の一般演題発表など圧倒されることばかりでした。と同時に、このような大変な思いを秘めて78回もの大会が続いてきたことに思いをはせると、これまでの大会関係者に尊敬と感謝の念に堪えません。次の第79回大会（滋賀）が盛会になることをお祈りいたします。

最後になりましたが、本号を含めて、今年1年間編集に携われた方々、特に、忙しい日々のなかで貴重な時間を割いて査読の労をとっていただいた先生方に改めまして御礼申しあげます。

山津 幸司

## The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.73, No.6

### 体 力 科 学 第 73 巻 第 6 号

令和 6 年 11 月 25 日 印 刷  
令和 6 年 12 月 1 日 発 行

編集兼発行者  
発 行 所

後 藤 勝 正  
一般社団法人日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13  
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内  
TEL：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012  
E-mail：jpsfsm@asas-mail.jp

編 集 事 務 局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1  
鶴岡印刷株式会社内  
TEL：0235-22-3120 FAX：0235-22-3120  
E-mail：hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1  
鶴岡印刷株式会社